

# マイナビ 2020年度キャリア・就職支援への取り組み調査

2020年7月



- 内容 大学等のキャリア・就職支援の実態に関する調査
- 実施期間 2020年6月5日～2020年6月30日
- 調査対象 全国の大学就職支援担当部署・窓口
- 調査方法 以下のいずれかの方法で回答
- ・WEBフォームへ入力
  - ・回答用紙をFAXにて返送もしくは弊社担当者へ手渡し

## 回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	101	314	415
キャンパス別の回答数	28	128	156
<b>総計</b>	<b>129</b>	<b>442</b>	<b>571</b>

※キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各1回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	10	16	26
東北	16	26	42
関東	22	177	199
甲信越	10	19	29
北陸	13	50	63
東海	7	10	17
関西	15	81	96
中国	15	23	38
四国	7	5	12
九州	14	35	49
<b>総計</b>	<b>129</b>	<b>442</b>	<b>571</b>

■ 本資料について ■ 資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。  
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 TEL: 03(6267)4571 / E-mail: myrm@mynavi.jp

## 口質問事項

1)2021年卒向け就職ガイダンスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ参加人数の増減【前期・インターンシップガイダンス・夏休み明け～年末・年明け・全期間】</li> <li>・開催回数の増減 ・延べ参加人数の増減(経年) ・就職ガイダンス開催回数の増減</li> <li>・就職ガイダンスの開始時期</li> <li>・2022年卒学生向け就職ガイダンス緊急事態宣言発令後の対応</li> </ul>
2)2021年卒向けの求人(票)の受付や障がいのある学生への就職支援の取り組み・学校推薦状の発行について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人(票)の受付企業数の増減 ・求人(票)の受付企業数の増減(経年)</li> <li>・求人票の受付延べ件数(2020年卒、2021年卒)</li> <li>・人事担当者がキャリアセンターに求人を直接持参した企業数</li> <li>・キャリアセンターへの負荷2020年卒との比較</li> <li>・キャリアセンターのミッションでの優先順位1位 ・優先順位1位～5位(全体)</li> <li>・障がいのある学生への就職支援の取り組み(複数回答)</li> <li>・【理系】学校推薦状発行開始時期</li> </ul>
3)2021年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用広報を目的としない業界研究セミナー実施の</li> <li>・2021年卒学生の延べ参加人数の増減・増減割合</li> <li>・開催回数(日数)の増減</li> <li>・2021年卒向け業界研究セミナー開始時期</li> </ul>
4)2021年卒向けの採用広報を目的とした学内企業説明会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年向けの採用広報を目的とした学内企業説明会実施の有無</li> <li>・2021年卒の延べ参加人数の増減・増減割合</li> <li>・開催回数(日数)の増減</li> <li>・開催時期の2020年卒との比較</li> <li>・2021年卒向け学内企業説明会の開始時期</li> <li>・2021年卒向け学内企業説明会の終了時期</li> <li>・延べ参加企業数(WEB含む)の分布、増減の割合</li> <li>・WEBで実施した企業説明会で利用したWEB会議システム(複数回答)</li> </ul>
5)低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育(正課)実施の有無</li> <li>・キャリア教育の開始時期</li> <li>・低学年向けアセスメントツール実施の有無</li> <li>・【2019年度実績・2020年度予定】大学で実施する、単位認定をしているインターンシップの有無</li> <li>・新型コロナウイルスの影響下における、単位認定型インターンシップのWEBでの開催について</li> <li>・新型コロナウイルスの影響下における、自由応募型インターンシップのWEBでの開催について</li> <li>・有償インターンシップについての考え</li> <li>・全国求人情報協会と大学関係団体の連名についての評価</li> </ul>
6)グローバル人材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生の国内就職希望者数平均・分布</li> <li>・外国人留学生向けの就職支援の実施の有無</li> <li>・日本人留学経験者への特別な就職支援の有無</li> <li>・マイナビの日本人留学生就職支援についての認知度</li> </ul>
7)新型コロナウイルス感染拡大が大学の支援やキャリアセンターの業務に及ぼす影響について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内立ち入り制限の実施有無</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大下におけるキャリアセンターの開室状況や取り扱い業務の変更有無</li> <li>・変更を行った時期</li> <li>・キャリアセンター開室状況</li> <li>・緊急事態宣言中の人事の訪問等窓口の受付状況 ・学生からの相談対応について</li> <li>・WEBで行った支援 ・今回の対応以前から行っていたか</li> <li>・企業への提出書類の発行時期</li> <li>・企業への提出書類の発行遅延、発行できない旨の企業への通知方法</li> <li>・WEBでの前期授業の実施有無</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響による夏期休暇期間変更の有無</li> </ul>
8)9月入学について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月入学の賛否</li> </ul>

## 補足資料

新型コロナ感染拡大の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内立入り制限日、閉室日、夏期休業期間</li> </ul>
自由記述	

### ■1) 就職ガイダンスについて(P5-7)

2021年卒学生向け就職ガイダンスの延べ参加人数の全期間における増減を見ると、「減少」が38.1%と前年より10pt近く増加している。「インターンシップガイダンス」(19.5%、前年比6.4pt増)と「年明け」(42.0%、前年比12.0pt増)での減少が目立つ。大学3年早期から就職活動を意識してのインターンシップ参加や売り手市場という環境下での安心感などの影響があると見られるが、「年明け」については新型コロナウイルス感染拡大によると見られるガイダンス開催数の「減少」(18.3%、前年比10.8pt増)の影響が大きい。2022年卒向けの就職ガイダンスについては、「WEBで実施」との回答が7割(延期後+延期せず)を占めた。

### ■2) 求人(票)の受付や障がいのある学生への就職支援の取り組み・学校推薦状の発行について (P8-10)

求人(票)の受付企業数では、「減少」との回答が40.8%(前年比27.7pt増)、人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を直接持参した企業数では「減った」が67.4%(前年比61.7pt増)と、新型コロナウイルス感染拡大によるキャリアセンターの閉室や採用予定数の再検討などの影響を受け、例年とは全く違う様相を呈している。理系の推薦状の発行時期は、3月以前の合計が21.7%と、数年来の前倒し傾向がさらに強まる結果となっていた。緊急事態宣言が発令された4月に関しては前年を下回り、推薦状の発行にも新型コロナウイルスの影響が見受けられる。

### ■3) 採用広報を目的としない企業を招いて実施する業界研究セミナーについて (P11-12)

2021年卒学生への採用広報を目的としない業界研究セミナーは、7割強の大学で実施されていた。参加人数は2020年卒と比較すると「減少」との回答が35.6%(前年比4.6pt増)で、減少傾向にある。開催回数について「減らした」が10.9%(前年比4.2pt増)であることから開催回数の減少が参加人数に影響を及ぼしていると言えるだろう。

開催時期は、2020年卒では「学部3年、院1年の11月」(28.4%)にピークが来ていたが、2021年卒については、「学部3年、院1年の10月」(21.3%)が「学部3年、院1年の11月」(21.1%)をわずかながら上回りピークの分散化と開催時期の前倒し傾向が見受けられる。

### ■4) 採用広報を目的とした学内企業説明会について(P13-16)

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、2021年卒学生向け学内企業説明会の実施率(予定通り実施+延期後WEBで実施+延期せずWEBで実施)は42.6%(前年比43.5pt減)で大幅に前年を下回った。国公立では44.7%が「中止した」と回答している。開催回数は「減らした」(33.0%)が前年の倍以上となっており、ガイダンス、業界セミナー同様新型コロナウイルス感染拡大の煽りを受ける結果となった。学内企業説明会開始時期は、新型コロナウイルスの影響が少なかった「2月」(32.7%、前年比20.7pt増)が最も多く、就職活動の早期化の実情に合わせ広報活動開始の3月よりも早い時期に開催する大学が増えている。一方終了時期についても、「2月」(16.7%、前年比14.7pt増)が最も多いことから、新型コロナウイルス感染拡大により「2月」開催で学内企業説明会を終了した大学も一定数あったことがわかる。WEB開催を含む学内企業説明会への参加企業数の平均は93.2社と、前年平均を100社ほど下回った。就職情報会社主催の合同説明会も中止され、学生が自分が知らない企業と偶然出会う機会が大幅に減少していたことがわかる。

WEBで開催された企業説明会では、7割強の大学が「Zoom Meetings」を利用していた。

### ■5) 低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて(P17-18)

キャリア教育(正課)は9割近い大学が実施している。「大学1年次前期」(68.5%、前年比1.7pt減)から始めている大学が最も多く、「大学1年次後期」(12.9%、前年比2.2pt増)が続いており、キャリア教育(正課)を実施している大学のほとんどが大学1年からキャリア教育に取り組んでいることがわかる。大学で実施する単位認定等を行うインターンシップの有無に関して、2019年度については79.9%の大学が「ある」と回答しているが、2020年度の予定を聞くと「ある」は56.0%と2019年度より減少。「検討中」が11.3%という結果となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響下において実際の現場でのインターンシップができない場合、WEBでのインターンシップの開催を認めるかどうか聞いたところ、「(今年度に限り+プログラム内容次第で)認める」が単位認定型では57.2%、自由応募型では84.3%という結果であった。WEB開催でも職場体験、仕事体験が実現でき、学生の職業観涵養や業界研究が可能となるプログラムを組んで行くことが肝要と言える。全国求人情報協会と大学関係団体との共同発表を受け、就職情報会社各社が「ワンデーインターンシップ」とは表記せず、就業体験を伴う1日だけのインターンシップを「ワンデー仕事体験」のように掲載することや、インターンシップの「長期休暇」「土日祝」中心の開催を企業に促す取り組みを行っていることについて聞いたところ「評価する」が53.7%、「評価しない」が3.3%、「どちらでもない」42.9%とキャリアセンターから一定数の評価を得ていることがわかった。

### ■6) グローバル人材について (P19)

日本国内での就職を希望する外国人留学生数の平均は38.9人と前年の27.5人を大きく上回った。ここ数年増加傾向が続いている。外国人留学生に対する就職支援については、「(日本人学生と区別して+区別せず)実施している+今年度実施予定はある」が8割を占めており、大学の就職支援も手厚い。一方日本人の留学経験者への特別な就職支援については、「実施しておらず、当座の実施予定もない」との回答が8割を超え、海外留学生はその留学時期に関わらず一般的な就職活動を行っていることになる。

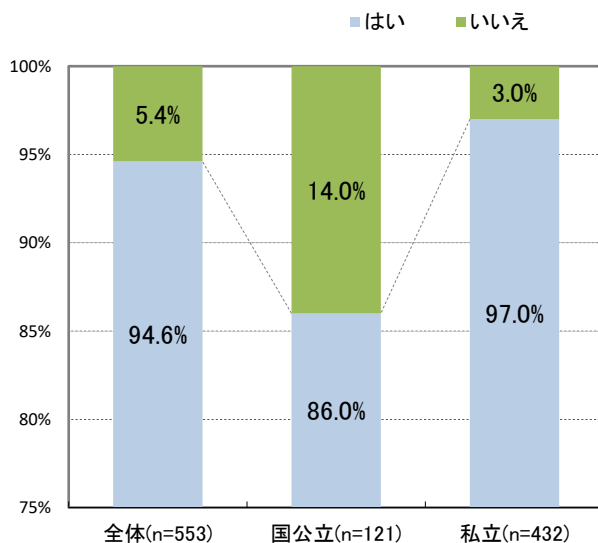
新型コロナウイルス感染拡大による影響について自由記述で聞いたところ、インバウンド需要の縮小で求人情報が減る中、WEBでのガイダンスを始め、メール等での情報配信、定期的なアンケートと希望者の面談、例年以上にマッチングを重視する等、キャリアセンターの様々な支援が見受けられた。海外留学中の日本人学生についてもWEBでの支援が中心となっている。WEBで採用活動を行う企業も多いため、留学先でタイムラグなく就職活動ができるので活用するように勧めている大学や、全留学生を帰国させている大学も見受けられる。

### ■7) 新型コロナウイルス感染拡大が大学の支援やキャリアセンターの業務に及ぼす影響について(P20-24)

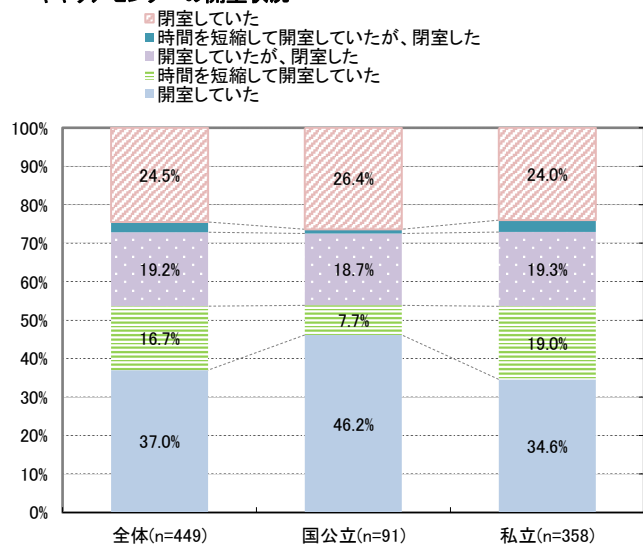
新型コロナウイルス感染拡大により、94.6%が大学内への立ち入り制限を行っていた。国公立(86.0%)より私立(97.0%)のほうが立ち入り制限を行う大学が多かった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常とは違う何らかの変更を行ったと回答したキャリアセンターは84.6%あり、何らかの変更を行った時期は、やはり緊急事態宣言が発令された4月上旬が51.4%で最も多い。そのような中でも開室していたキャリアセンターは37.0%あり、国公立では46.2%と開室していた割合が高い。学生からの相談対応については、「電話」(87.1%)、「メール」(86.7%)、「WEB」(77.6%)などを駆使して行っていたようだ。行った支援について複数回答で聞いたところ「就職相談全般」(93.1%)が最も多く、「模擬面接」(85.4%)、「エントリーシート添削」(84.6%)が続いた。WEBでの支援は9割のキャリアセンターが今回からの対応だと回答している。健康診断等の企業への提出書類の発行時期は「遅らせた」が67.2%にのぼった。学内立ち入り制限により健康診断ができない等によるところが大きい。

学内立ち入り制限により授業をすべてWEB化した大学は83.6%あり、一部の授業をWEB化した(14.1%)と合わせると100%近い大学が授業をWEBで行っていた。とはいえ、WEB化への移行準備期間などに授業ができなかった分については、夏期休暇期間を「変更する」(60.8%)ことで補う大学が多く見受けられる。特に夏期休暇の開始時期をお盆休み期間中に後ろ倒しする大学が目立つ。

学内立ち入り制限をしたか



新型コロナウイルス感染拡大下における  
キャリアセンターの開室状況



### ■8) 9月入学について(P21)

緊急事態宣言発令中に話題となった9月入学について、大学のキャリアセンターの意見を聞いたところ、約4割は賛成(賛成+どちらかという賛成)であった。賛成の理由としては世界基準、グローバル化、海外留学などのキーワードが多かった。その中で、大学受験の時期にインフルエンザ等の感染症が流行していないからという意見もあった。反対の理由としては、就職活動への影響、法制度が整っていない、準備期間がない等が多かった。

## (1) 就職ガイダンスについて

### 2021年卒学生のガイダンス延べ参加人数の増減

【前期】	全体(n=547)	国公立(n=122)	私立(n=425)	参考:前年調査
増加	23.2%	28.7%	21.6%	19.4%
前年度並み	55.9%	41.0%	60.2%	59.5%
減少	20.8%	30.3%	18.1%	21.0%

【インターンシップガイダンス】	全体(n=529)	国公立(n=117)	私立(n=412)	参考:前年調査
増加	29.9%	29.1%	30.1%	32.4%
前年度並み	50.7%	41.9%	53.2%	54.5%
減少	19.5%	29.1%	16.7%	13.1%

【夏休み明け～年末】	全体(n=543)	国公立(n=121)	私立(n=422)	参考:前年調査
増加	14.0%	11.6%	14.7%	12.9%
前年度並み	55.1%	47.1%	57.3%	55.9%
減少	30.9%	41.3%	28.0%	31.2%

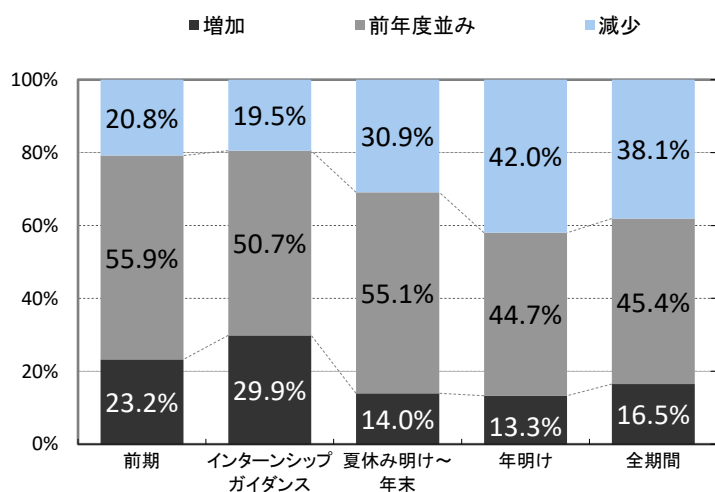
【年明け】	全体(n=541)	国公立(n=119)	私立(n=422)	参考:前年調査
増加	13.3%	8.4%	14.7%	15.2%
前年度並み	44.7%	42.0%	45.5%	54.8%
減少	42.0%	49.6%	39.8%	30.0%

【全期間】	全体(n=546)	国公立(n=120)	私立(n=426)	参考:前年調査
増加	16.5%	13.3%	17.4%	18.1%
前年度並み	45.4%	41.7%	46.5%	52.8%
減少	38.1%	45.0%	36.2%	29.0%

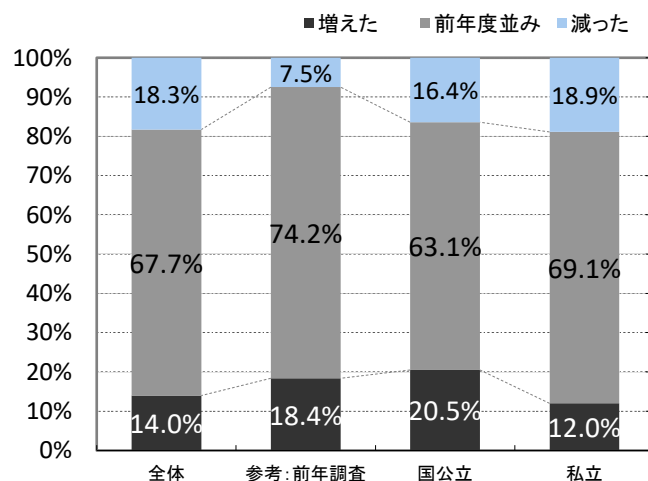
### 2021年卒学生向け就職ガイダンス開催回数の増減

	全体(n=530)	国公立(n=122)	私立(n=408)	参考:前年調査
増えた	14.0%	20.5%	12.0%	18.4%
前年度並み	67.7%	63.1%	69.1%	74.2%
減った	18.3%	16.4%	18.9%	7.5%

学生の延べ参加人数の増減【開催時期別】(全体)



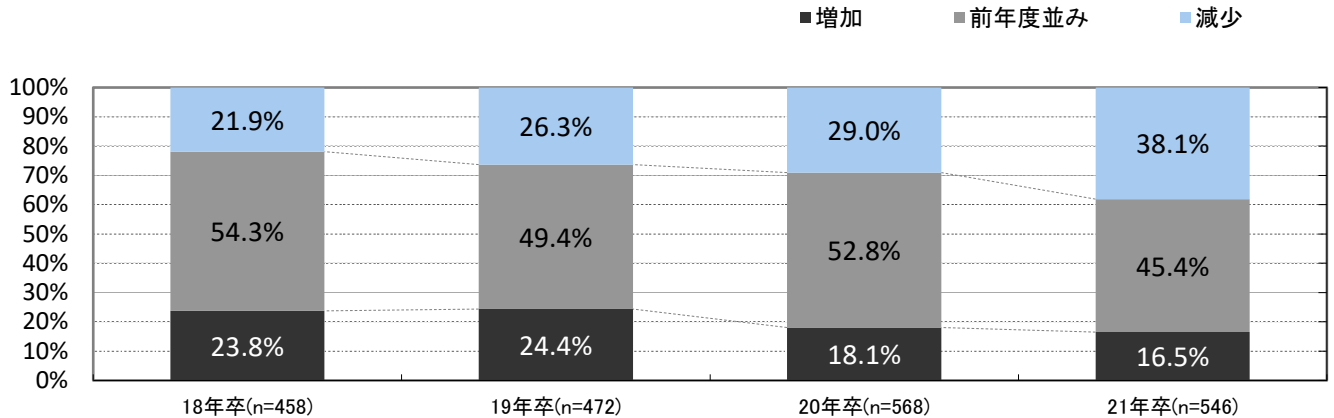
就職ガイダンス開催回数の増減



延べ参加人数の増減(2018年卒～21年卒)

	18年卒(n=458)	19年卒(n=472)	20年卒(n=568)	21年卒(n=546)
増えた	23.8%	24.4%	18.1%	16.5%
前年度並み	54.3%	49.4%	52.8%	45.4%
減った	21.9%	26.3%	29.0%	38.1%

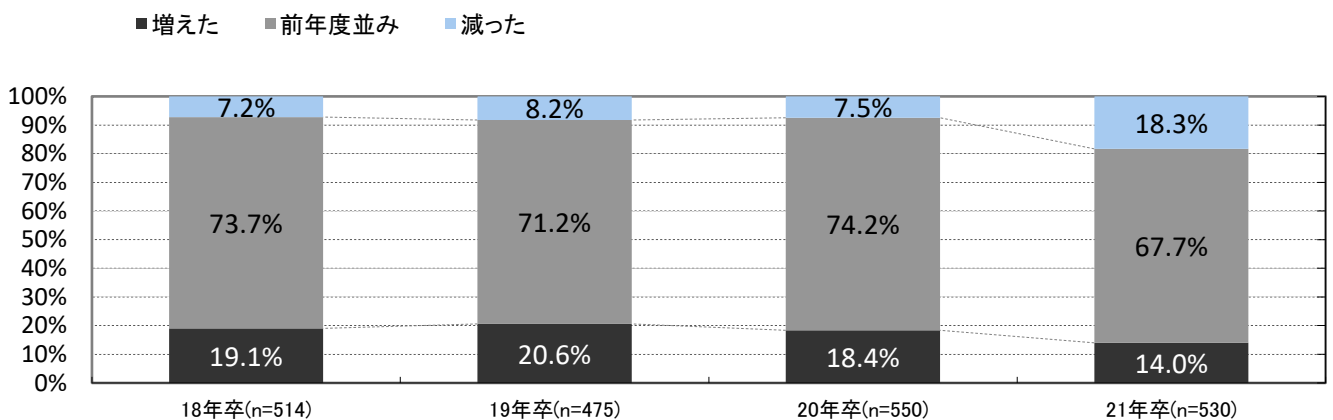
延べ参加人数増減(2018年卒～21年卒)



就職ガイダンス開催回数の増減(2018年卒～21年卒)

	18年卒(n=514)	19年卒(n=475)	20年卒(n=550)	21年卒(n=530)
増えた	19.1%	20.6%	18.4%	14.0%
前年度並み	73.7%	71.2%	74.2%	67.7%
減った	7.2%	8.2%	7.5%	18.3%

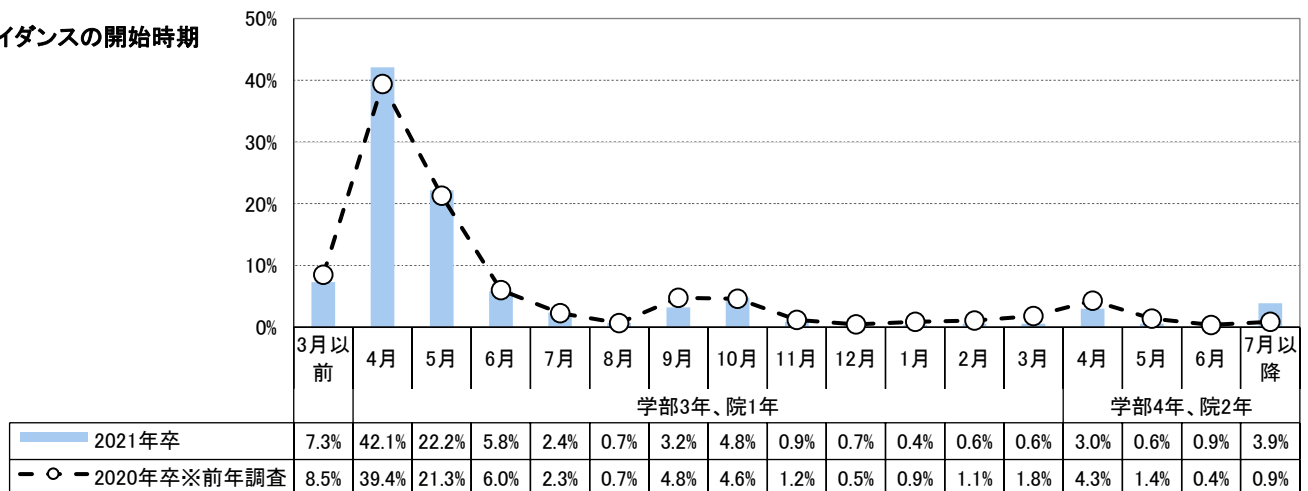
就職ガイダンス開催回数増減(2018年卒～21年卒)



## 就職ガイダンスの開始時期

2021年卒学生向け 就職ガイダンスの開始時期	全体(n=537)	国公立(n=122)	私立(n=415)	参考:前年調査
2019年3月以前	7.3%	4.1%	8.2%	8.5%
2019年4月	42.1%	44.3%	41.4%	39.4%
2019年5月	22.2%	27.9%	20.5%	21.3%
2019年6月	5.8%	4.9%	6.0%	6.0%
2019年7月	2.4%	1.6%	2.7%	2.3%
2019年8月	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%
2019年9月	3.2%	2.5%	3.4%	4.8%
2019年10月	4.8%	6.6%	4.3%	4.6%
2019年11月	0.9%	-	1.2%	1.2%
2019年12月	0.7%	1.6%	0.5%	0.5%
2020年1月	0.4%	0.8%	0.2%	0.9%
2020年2月	0.6%	-	0.7%	1.1%
2020年3月	0.6%	0.8%	0.5%	1.8%
2020年4月	3.0%	1.6%	3.4%	4.3%
2020年5月	0.6%	-	0.7%	1.4%
2020年6月	0.9%	-	1.2%	0.4%
2020年7月以降	3.9%	2.5%	4.3%	0.9%

## 就職ガイダンスの開始時期



## 2022年卒学生向け就職ガイダンスについて、緊急事態宣言発令後の対応

	全体(n=551)	国公立(n=125)	私立(n=426)
予定通り実施	8.7%	8.0%	8.9%
延期したまま対応未定	12.9%	11.2%	13.4%
延期後WEBで実施	48.8%	46.4%	49.5%
延期せずWEBで実施	21.4%	27.2%	19.7%
中止した	8.2%	7.2%	8.5%

(2) 大学で行っている就職支援について  
求人(票)の受付や障がいのある学生への就職支援の取り組み・学校推薦状の発行について

求人(票)の受付企業数の増減

	全体(n=542)	国公立(n=119)	私立(n=423)	参考:前年調査
増加	12.2%	12.6%	12.1%	35.3%
前年度並み	47.0%	52.9%	45.4%	51.6%
減少	40.8%	34.5%	42.6%	13.1%

求人(票)の受付企業数の増減(2017年卒～2021年卒)

	17年卒(n=427)	18年卒(n=510)	19年卒(n=466)	20年卒(n=556)	21年卒(n=542)
増加	52.2%	50.0%	46.6%	35.3%	12.2%
前年度並み	44.5%	43.1%	42.7%	51.6%	47.0%
減少	3.3%	6.9%	10.7%	13.1%	40.8%

	全体(n=347)	国公立(n=79)	私立(n=268)	参考:前年調査
求人票の2020年卒の受付延べ件数平均	9,769	9,418	9,873	7,055

	全体(n=323)	国公立(n=74)	私立(n=249)	参考:前年調査
求人票の2021年卒の受付延べ件数平均	7,384	7,819	7,254	6,195

人事担当者がキャリアセンターに求人を持参した企業数

	全体(n=536)	国公立(n=117)	私立(n=419)	参考:前年調査
増えた	4.5%	9.4%	3.1%	29.2%
前年度並み	28.2%	29.9%	27.7%	65.1%
減った	67.4%	60.7%	69.2%	5.7%

キャリアセンターの負荷は2020年卒と比べて

	全体(n=541)	国公立(n=118)	私立(n=423)	参考:前年調査
増えた	37.3%	33.9%	38.3%	35.7%
影響ない	50.1%	51.7%	49.6%	62.3%
減った	12.6%	14.4%	12.1%	2.0%

キャリアセンターのミッションでの優先順位1位

	全体(n=452)	国公立(n=93)	私立(n=359)	参考:前年調査
就職希望者に占める就職率の向上	42.0%	38.7%	42.9%	36.9%
大企業への就職人数増	2.2%	-	2.8%	4.8%
学生個々人の満足度向上	50.9%	49.5%	51.3%	52.6%
地域企業への人材輩出数の増加	2.2%	2.2%	2.2%	1.9%
特定業種(公務員等)への就職率向上	2.7%	9.7%	0.8%	3.8%

キャリアセンターのミッションでの優先順位

1位～5位(全体(n=452))	1位	2位	3位	4位	5位
就職希望者に占める就職率の向上	42.0%	<b>41.4%</b>	11.3%	2.7%	2.7%
大企業への就職人数増	2.2%	7.5%	26.1%	27.2%	<b>36.9%</b>
学生個々人の満足度向上	<b>50.9%</b>	32.7%	13.3%	2.0%	1.1%
地域企業への人材輩出数の増加	2.2%	10.6%	<b>28.8%</b>	32.1%	26.3%
特定業種(公務員等)への就職率向上	2.7%	7.7%	20.6%	<b>36.1%</b>	33.0%

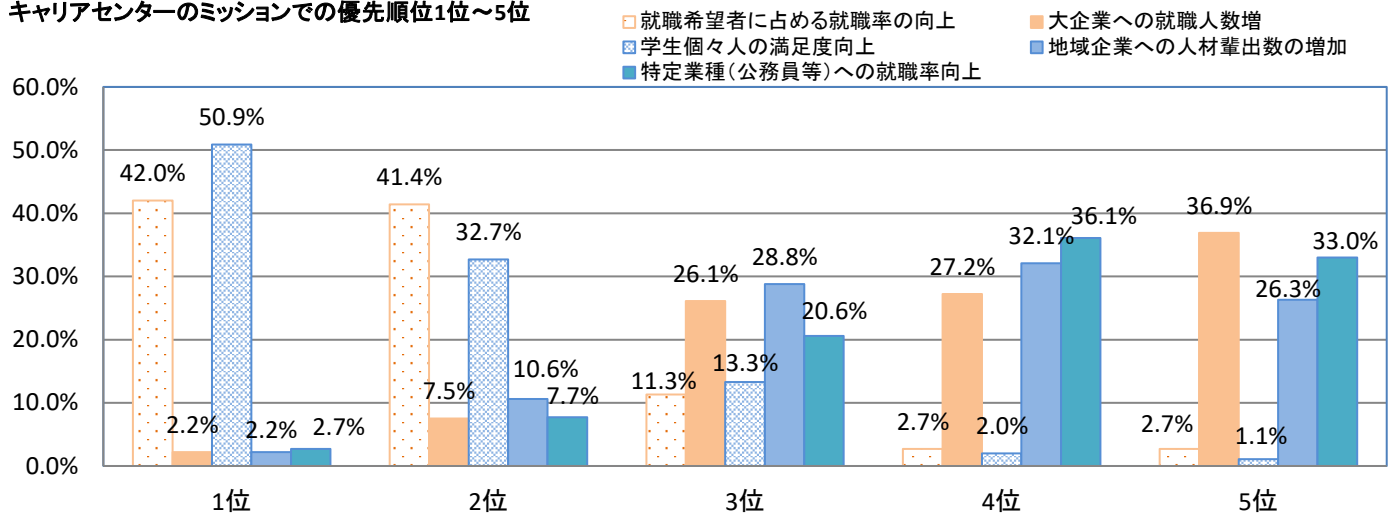
※参考:2020年度調査

キャリアセンターのミッションでの優先順位

1位～5位(全体(n=410))	1位	2位	3位	4位	5位
就職希望者に占める就職率の向上	36.9%	<b>40.7%</b>	12.4%	5.0%	5.0%
大企業への就職人数増	4.8%	6.7%	26.2%	27.7%	<b>34.6%</b>
学生個々人の満足度向上	<b>52.6%</b>	31.9%	9.9%	4.8%	0.8%
地域企業への人材輩出数の増加	1.9%	10.7%	<b>29.8%</b>	30.6%	27.0%
特定業種(公務員等)への就職率向上	3.8%	10.1%	21.8%	<b>31.9%</b>	32.5%



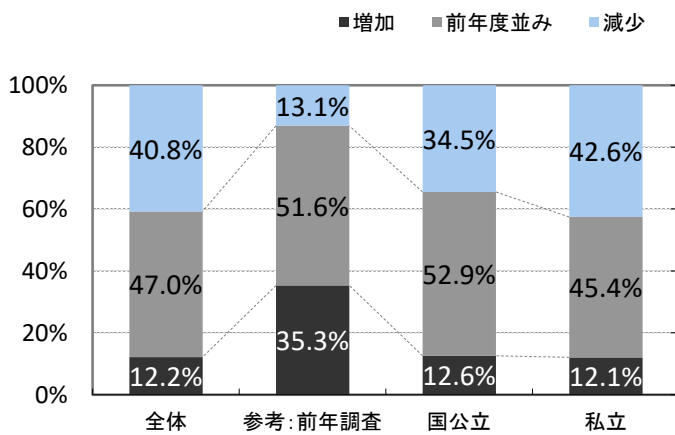
キャリアセンターのミッションでの優先順位1位～5位



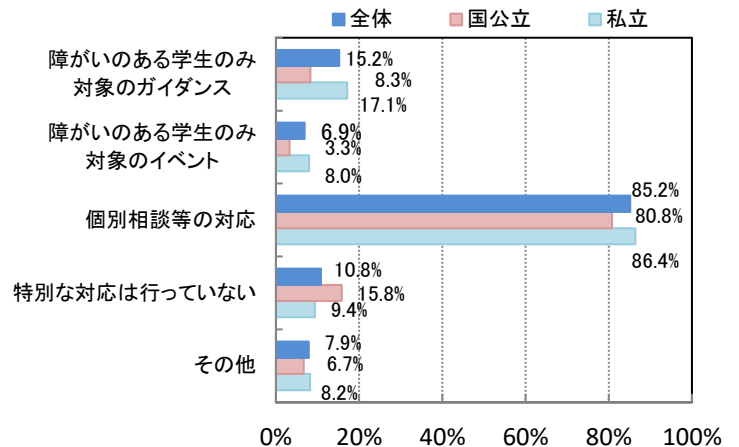
障がいのある学生への就職支援の取り組み(複数回答)

	全体(n=547)	国公立(n=120)	私立(n=427)
障がいのある学生のみ対象のガイダンス	15.2%	8.3%	17.1%
障がいのある学生のみ対象のイベント	6.9%	3.3%	8.0%
個別相談等の対応	85.2%	80.8%	86.4%
特別な対応は行っていない	10.8%	15.8%	9.4%
その他	7.9%	6.7%	8.2%

求人(票)受付社数の増減



障がいのある学生への就職支援の取り組み(複数回答)



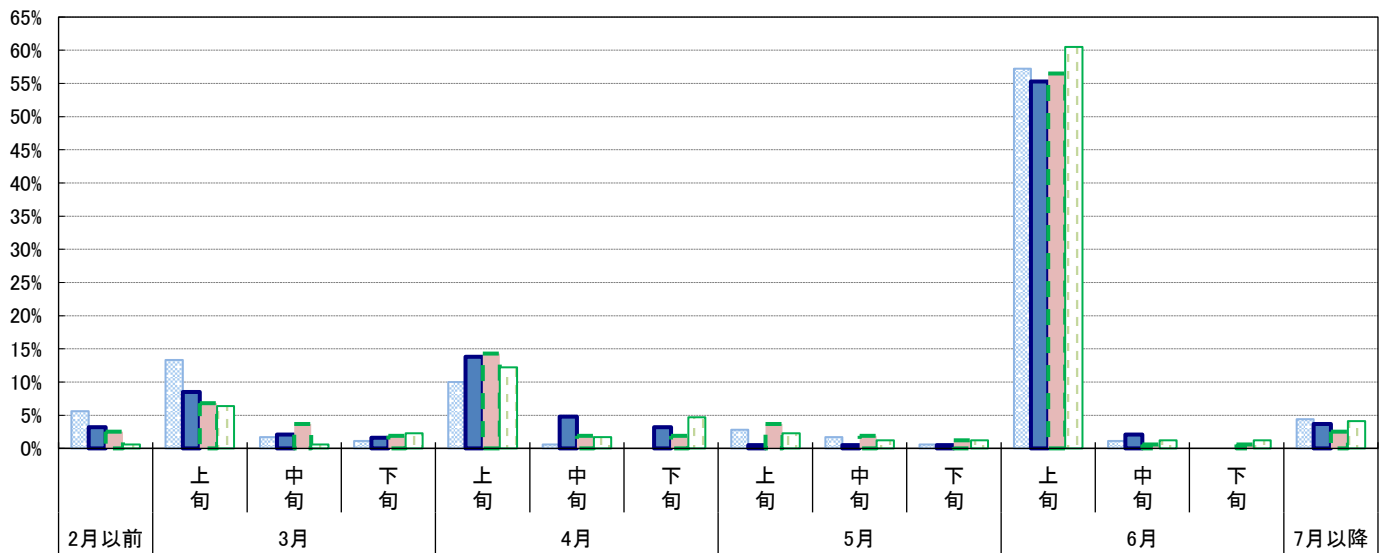
※推薦状を発行する予定の学校のみ集計

【理系】学校推薦状発行開始時期

		全体(n=180)	国公立(n=56)	私立(n=124)	参考:前年調査
2020年2月以前		5.6%	5.4%	5.6%	3.2%
3月	上旬	13.3%	16.1%	12.1%	8.5%
	中旬	1.7%	-	2.4%	2.1%
	下旬	1.1%	-	1.6%	1.6%
4月	上旬	10.0%	8.9%	10.5%	13.8%
	中旬	0.6%	-	0.8%	4.8%
	下旬	-	-	-	3.2%
5月	上旬	2.8%	1.8%	3.2%	0.5%
	中旬	1.7%	3.6%	0.8%	0.5%
	下旬	0.6%	1.8%	-	0.5%
6月	上旬	57.2%	60.7%	55.6%	55.3%
	中旬	1.1%	-	1.6%	2.1%
	下旬	-	-	-	-
7月以降		4.4%	1.8%	5.6%	3.7%
<b>3月以前の合計</b>		<b>21.7%</b>	<b>21.5%</b>	<b>21.7%</b>	<b>15.4%</b>

【理系】学校推薦状発行開始時期(経年)

■ 2020年度 ■ 参考:2019年度 ■ 参考:2018年度 ■ 参考:2017年度



(3) 2021年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて

採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施

	全体(n=556)	国公立(n=124)	私立(n=432)	参考:前年調査
実施している	72.8%	78.2%	71.3%	78.0%
実施していない	27.2%	21.8%	28.7%	22.0%

▼以下は「実施している」と回答した学校・キャンパスのみ集計

2021年卒学生の延べ参加人数は2020年卒と比較して

	全体(n=374)	国公立(n=91)	私立(n=283)	参考:前年調査
増加	22.2%	18.7%	23.3%	20.7%
前年度並み	42.2%	41.8%	42.4%	48.3%
減少	35.6%	39.6%	34.3%	31.0%

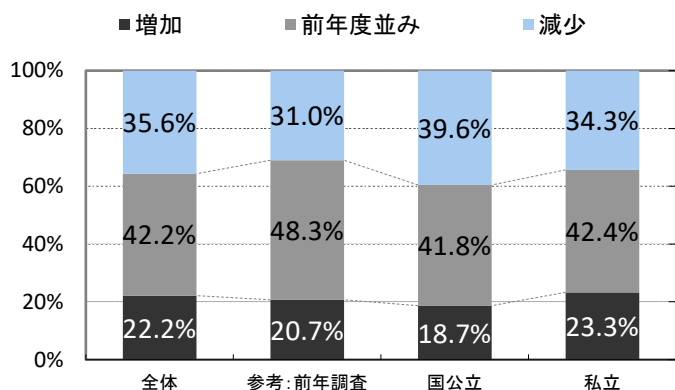
2021年卒学生の延べ参加人数の増減の割合

	全体(n=374)	国公立(n=91)	私立(n=283)	参考:前年調査
10割以上増加	1.9%	-	2.5%	1.9%
9割増加	-	-	-	0.2%
8割増加	0.3%	-	0.4%	0.2%
7割増加	0.8%	-	1.1%	0.2%
6割増加	0.5%	-	0.7%	-
5割増加	2.1%	2.2%	2.1%	1.2%
4割増加	0.3%	-	0.4%	1.9%
3割増加	2.9%	3.3%	2.8%	3.1%
2割増加	5.3%	3.3%	6.0%	2.9%
1割増加	5.1%	7.7%	4.2%	6.9%
増加(割合無回答)	2.9%	2.2%	3.2%	2.1%
前年度並み(増減はなさそう)	42.2%	41.8%	42.4%	48.3%
1割減少	8.0%	12.1%	6.7%	5.5%
2割減少	7.2%	9.9%	6.4%	8.8%
3割減少	8.0%	11.0%	7.1%	5.5%
4割減少	1.6%	-	2.1%	2.1%
5割減少	2.9%	3.3%	2.8%	1.9%
6割減少	0.3%	-	0.4%	0.2%
7割減少	0.8%	-	1.1%	-
8割減少	0.8%	1.1%	0.7%	-
9割減少	-	-	-	-
減少(割合無回答)	5.9%	2.2%	7.1%	6.9%

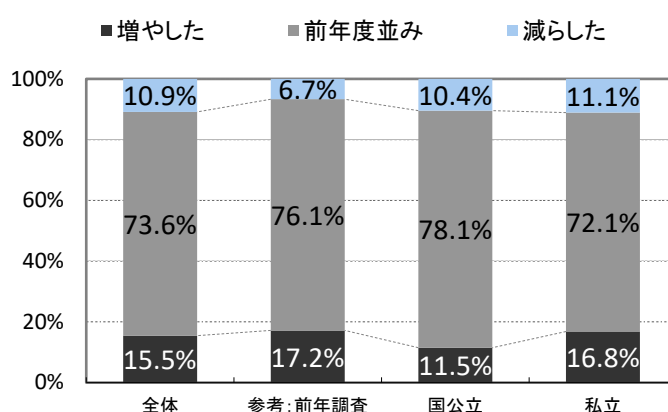
業界研究セミナー開催回数(日数)は2020年卒学生と比べて

	全体(n=394)	国公立(n=96)	私立(n=298)	参考:前年調査
増やした	15.5%	11.5%	16.8%	17.2%
前年度並み	73.6%	78.1%	72.1%	76.1%
減らした	10.9%	10.4%	11.1%	6.7%

### 業界研究セミナー参加人数



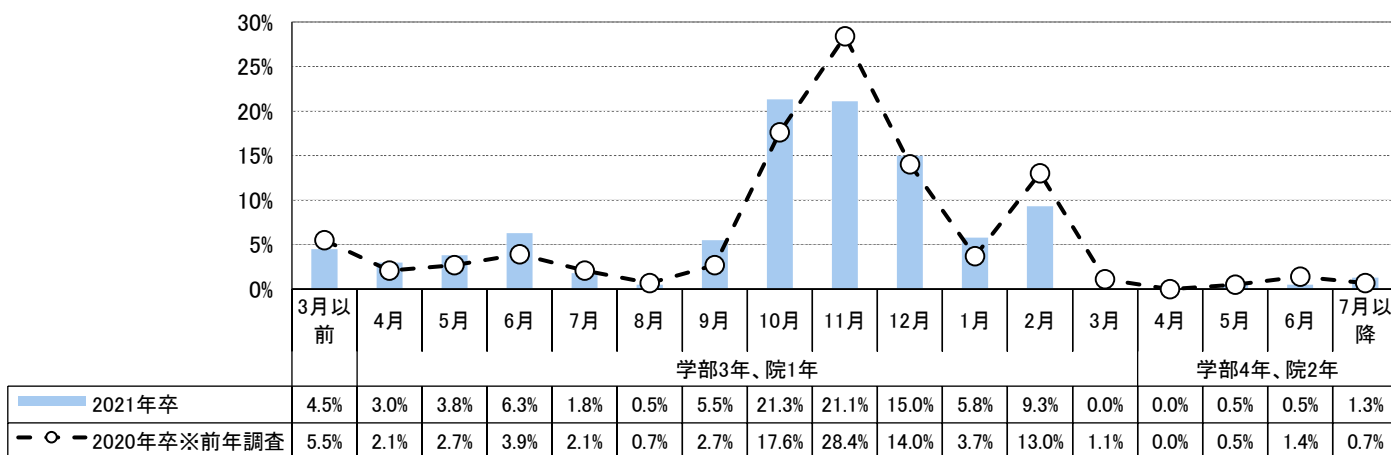
### 業界研究セミナー開催回数



### 2021年卒向け業界研究セミナーの開始時期

開始時期 (Start Period)	※前年調査 (Reference: Previous year survey)		
	全体(n=399) (Overall)	国公立(n=95) (Public/Quasi-public)	私立(n=304) (Private)
2019年3月以前	4.5%	2.1%	5.3%
2019年4月	3.0%	2.1%	3.3%
2019年5月	3.8%	5.3%	3.3%
2019年6月	6.3%	8.4%	5.6%
2019年7月	1.8%	1.1%	2.0%
2019年8月	0.5%	2.1%	-
2019年9月	5.5%	5.3%	5.6%
2019年10月	21.3%	23.2%	20.7%
2019年11月	21.1%	15.8%	22.7%
2019年12月	15.0%	20.0%	13.5%
2020年1月	5.8%	4.2%	6.3%
2020年2月	9.3%	8.4%	9.5%
2020年3月	-	-	-
2020年4月	-	-	-
2020年5月	0.5%	-	0.7%
2020年6月	0.5%	-	0.7%
2020年7月以降	1.3%	2.1%	1.0%

### 業界研究セミナーの開始時期



#### (4) 採用広報を目的とした学内企業説明会について

##### 2021年卒学生向けの採用広報を目的とした学内企業説明会の実施について

	全体(n=549)	国公立(n=123)	私立(n=426)
予定通り実施	25.9%	20.3%	27.5%
延期したまま対応未定	13.8%	8.1%	15.5%
延期後WEBで実施	14.0%	9.8%	15.3%
延期せずWEBで実施	2.7%	1.6%	3.1%
中止した	29.5%	44.7%	25.1%
元々実施していない	14.0%	15.4%	13.6%

▼以下は「実施」「延期後WEBで実施」「延期せずWEBで実施」と回答した学校・キャンパスのみ集計  
2021年卒学生の延べ参加人数は2020年卒と比較して

	全体(n=201)	国公立(n=34)	私立(n=167)	参考:前年調査
増えた	17.9%	8.8%	19.8%	14.5%
前年度並み	30.8%	32.4%	30.5%	45.5%
減った	51.2%	58.8%	49.7%	40.0%

##### 2021年卒学生の延べ参加人数の増減の割合

	全体(n=201)	国公立(n=34)	私立(n=167)	参考:前年調査
10割以上増加	2.0%	-	2.4%	0.6%
9割増加	-	-	-	-
8割増加	-	-	-	0.2%
7割増加	1.0%	-	1.2%	0.4%
6割増加	0.5%	-	0.6%	0.2%
5割増加	1.5%	2.9%	1.2%	0.2%
4割増加	-	-	-	0.4%
3割増加	1.5%	-	1.8%	1.5%
2割増加	4.0%	2.9%	4.2%	2.8%
1割増加	4.0%	-	4.8%	5.8%
増加(割合無回答)	3.5%	2.9%	3.6%	2.2%
前年度並み(増減はなさそう)	30.8%	32.4%	30.5%	45.5%
1割減少	4.5%	2.9%	4.8%	9.3%
2割減少	7.5%	2.9%	8.4%	10.0%
3割減少	7.5%	8.8%	7.2%	6.1%
4割減少	2.5%	5.9%	1.8%	1.9%
5割減少	7.0%	8.8%	6.6%	1.1%
6割減少	3.5%	5.9%	3.0%	0.2%
7割減少	-	-	-	0.2%
8割減少	0.5%	2.9%	-	0.4%
9割減少	-	-	-	-
減少(割合無回答)	18.4%	20.6%	18.0%	10.8%

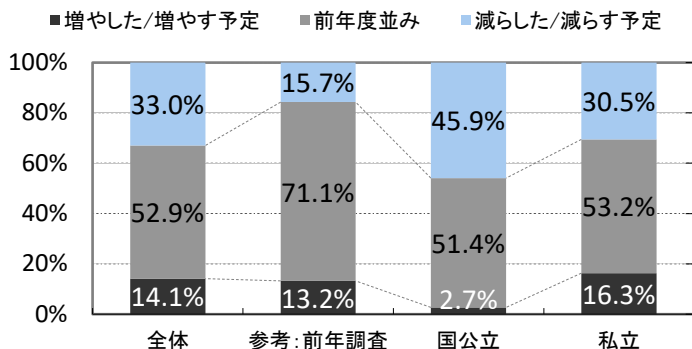
##### 2021年卒学生向け開催回数(日数)の増減

	全体(n=227)	国公立(n=37)	私立(n=190)	参考:前年調査
増やした	14.1%	2.7%	16.3%	13.2%
前年度並み	52.9%	51.4%	53.2%	71.1%
減らした	33.0%	45.9%	30.5%	15.7%

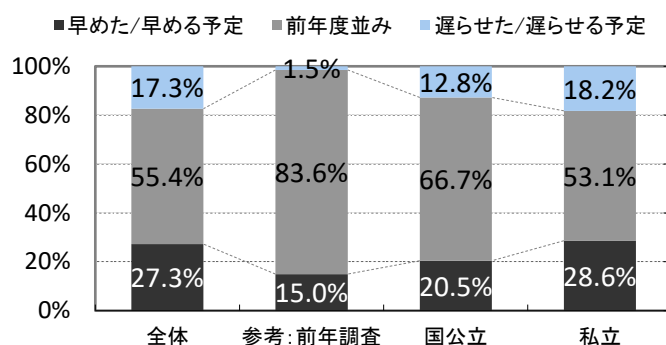
##### 2021年卒学生向け開催時期の2020年卒との比較

	全体(n=231)	国公立(n=39)	私立(n=192)	参考:前年調査
早めた/早める予定	27.3%	20.5%	28.6%	15.0%
前年度並み	55.4%	66.7%	53.1%	83.6%
遅らせた/遅らせる予定	17.3%	12.8%	18.2%	1.5%

### 学内企業説明会開催回数(日数)の増減



### 学内企業説明会開催時期の2020年卒との比較



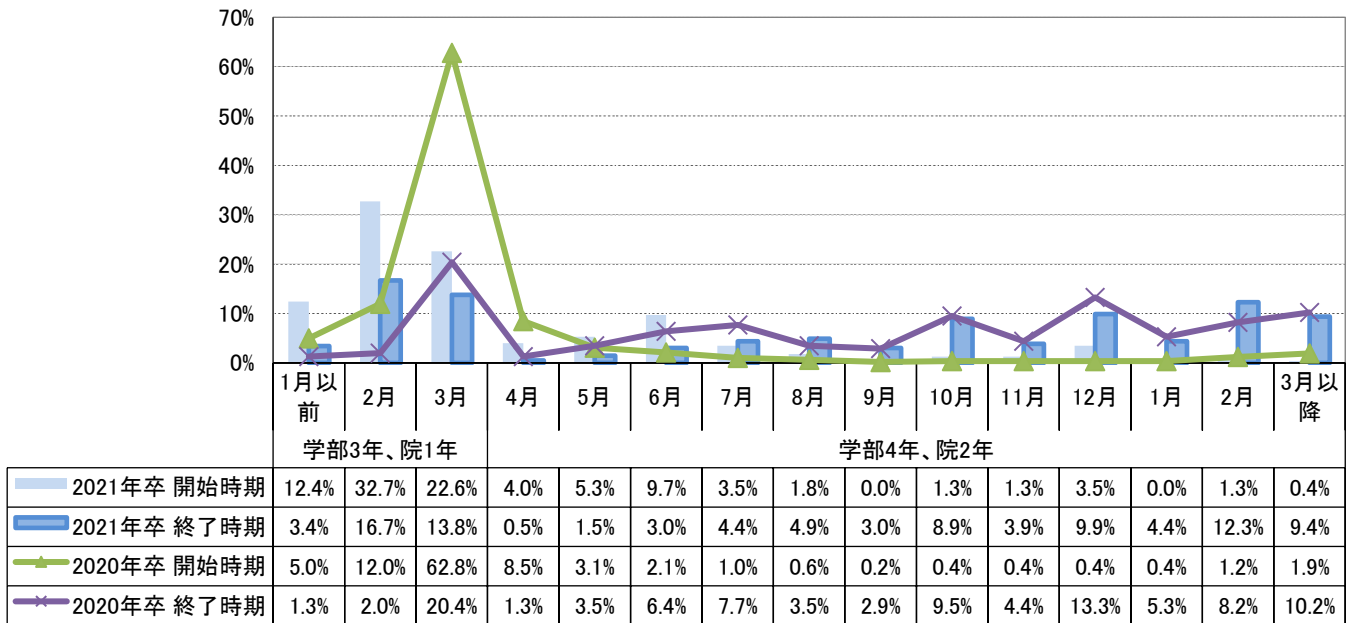
### 2021年卒向け学内企業説明会の開始時期

	全体(n=226)	国公立(n=36)	私立(n=190)	参考:前年調査
2020年1月以前	12.4%	11.1%	12.6%	5.0%
2020年2月	32.7%	16.7%	35.8%	12.0%
2020年3月	22.6%	44.4%	18.4%	62.8%
2020年4月	4.0%	5.6%	3.7%	8.5%
2020年5月	5.3%	-	6.3%	3.1%
2020年6月	9.7%	5.6%	10.5%	2.1%
2020年7月	3.5%	2.8%	3.7%	1.0%
2020年8月	1.8%	-	2.1%	0.6%
2020年9月	-	-	-	0.2%
2020年10月	1.3%	2.8%	1.1%	0.4%
2020年11月	1.3%	5.6%	0.5%	0.4%
2020年12月	3.5%	5.6%	3.2%	0.4%
2021年1月	-	-	-	0.4%
2021年2月	1.3%	-	1.6%	1.2%
2021年3月以降	0.4%	-	0.5%	1.9%

### 2021年卒向け学内企業説明会の終了時期

	全体(n=203)	国公立(n=32)	私立(n=171)	参考:前年調査
2020年1月以前	3.4%	3.1%	3.5%	1.3%
2020年2月	16.7%	12.5%	17.5%	2.0%
2020年3月	13.8%	15.6%	13.5%	20.4%
2020年4月	0.5%	-	0.6%	1.3%
2020年5月	1.5%	-	1.8%	3.5%
2020年6月	3.0%	6.3%	2.3%	6.4%
2020年7月	4.4%	-	5.3%	7.7%
2020年8月	4.9%	6.3%	4.7%	3.5%
2020年9月	3.0%	6.3%	2.3%	2.9%
2020年10月	8.9%	6.3%	9.4%	9.5%
2020年11月	3.9%	6.3%	3.5%	4.4%
2020年12月	9.9%	9.4%	9.9%	13.3%
2021年1月	4.4%	6.3%	4.1%	5.3%
2021年2月	12.3%	15.6%	11.7%	8.2%
2021年3月以降	9.4%	6.3%	9.9%	10.2%

## 学内企業説明会の開始時期



※n=30以下は参考値としてご覧ください。

### 2021年卒向け学内企業説明会

	全体(n=80)	国公立(n=6)	私立(n=74)
WEBでの学内企業説明会参加企業数平均	34.8	12.7	36.6

### 2021年卒向け学内企業説明会

	全体(n=81)	国公立(n=8)	私立(n=73)
WEBでの学内企業説明会開催数の平均	11.8	3.5	12.7

### 21年卒学生向け学内企業説明会

	全体(n=197)	国公立(n=29)	私立(n=168)	参考:前年調査
これまでの延べ参加企業数(WEB含む) 平均	93.2	131.4	86.7	193.3

### 延べ参加企業数(WEB含む)の分布

※n=30以下は参考値としてご覧ください。

	全体(n=197)	国公立(n=29)	私立(n=168)
100社未満	68.5%	58.6%	70.2%
100~199社	19.3%	24.1%	18.5%
200~299社	4.6%	6.9%	4.2%
300~399社	4.1%	-	4.8%
400~499社	2.0%	3.4%	1.8%
500社以上	1.5%	6.8%	0.6%

延べ参加企業数の増減の割合

※n=30以下は参考値としてご覧ください。

	全体(n=191)	国公立(n=30)	私立(n=161)	参考:前年調査
10割以上増加	1.0%	-	1.2%	0.6%
9割増加	-	-	-	-
8割増加	-	-	-	0.2%
7割増加	-	-	-	0.4%
6割増加	0.5%	-	0.6%	0.2%
5割増加	1.0%	-	1.2%	0.2%
4割増加	0.5%	-	0.6%	0.4%
3割増加	1.6%	-	1.9%	1.5%
2割増加	1.0%	-	1.2%	2.8%
1割増加	3.7%	3.3%	3.7%	5.8%
増加(割合無回答)	4.2%	-	5.0%	2.2%
前年度並み(増減はなさそう)	30.4%	43.3%	28.0%	45.5%
1割減少	9.4%	3.3%	10.6%	9.3%
2割減少	6.3%	6.7%	6.2%	10.0%
3割減少	5.8%	-	6.8%	6.1%
4割減少	3.7%	6.7%	3.1%	1.9%
5割減少	6.3%	13.3%	5.0%	1.1%
6割減少	2.1%	3.3%	1.9%	0.2%
7割減少	2.1%	-	2.5%	0.2%
8割減少	1.6%	3.3%	1.2%	0.4%
9割減少	1.0%	-	1.2%	-
減少(割合無回答)	17.8%	16.7%	18.0%	10.8%

※n=30以下は参考値としてご覧ください。

WEBで実施した企業説明会で利用したWEB会議システムについて(複数回答)

	全体(n=100)	国公立(n=14)	私立(n=86)
Zoom Meetings	72.0%	78.6%	70.9%
Microsoft Teams	19.0%	28.6%	17.4%
Skype for Business	10.0%	14.3%	9.3%
Cisco Webex Meetings	11.0%	21.4%	9.3%
Google Meet	15.0%	21.4%	14.0%
Whereby	1.0%	-	1.2%
V-CUBE ミーティング	1.0%	-	1.2%
TeleOffice	-	-	-
その他	15.0%	7.1%	16.3%



## (5) 低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて

### キャリア教育(正課)を実施しているか

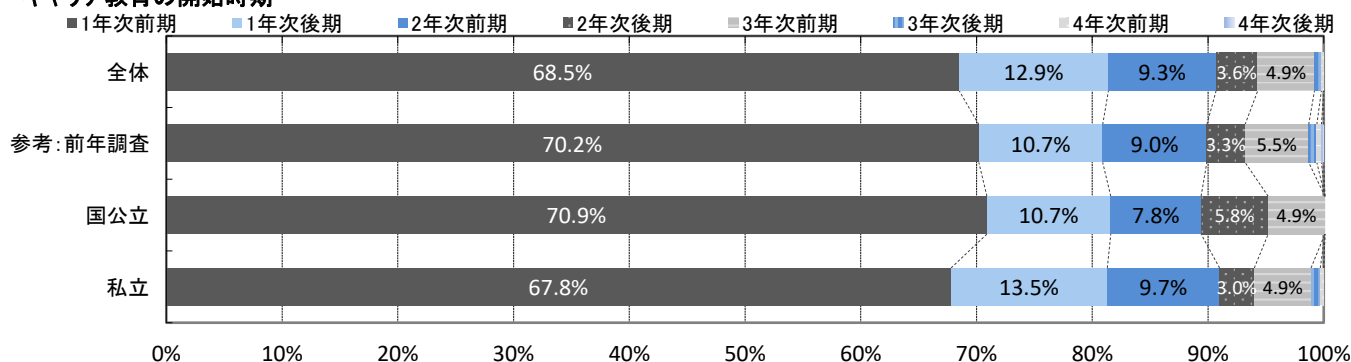
	全体(n=558)	国公立(n=127)	私立(n=431)	参考:前年調査
はい	87.3%	85.0%	87.9%	84.9%
いいえ	12.7%	15.0%	12.1%	15.1%

▼以下は「実施している」と回答した学校・キャンパスのみ集計

### キャリア教育の開始時期

	全体(n=473)	国公立(n=103)	私立(n=370)	参考:前年調査
1年次前期	68.5%	70.9%	67.8%	70.2%
1年次後期	12.9%	10.7%	13.5%	10.7%
2年次前期	9.3%	7.8%	9.7%	9.0%
2年次後期	3.6%	5.8%	3.0%	3.3%
3年次前期	4.9%	4.9%	4.9%	5.5%
3年次後期	0.6%	-	0.8%	0.7%
4年次前期	0.2%	-	0.3%	0.4%
4年次後期	-	-	-	0.2%

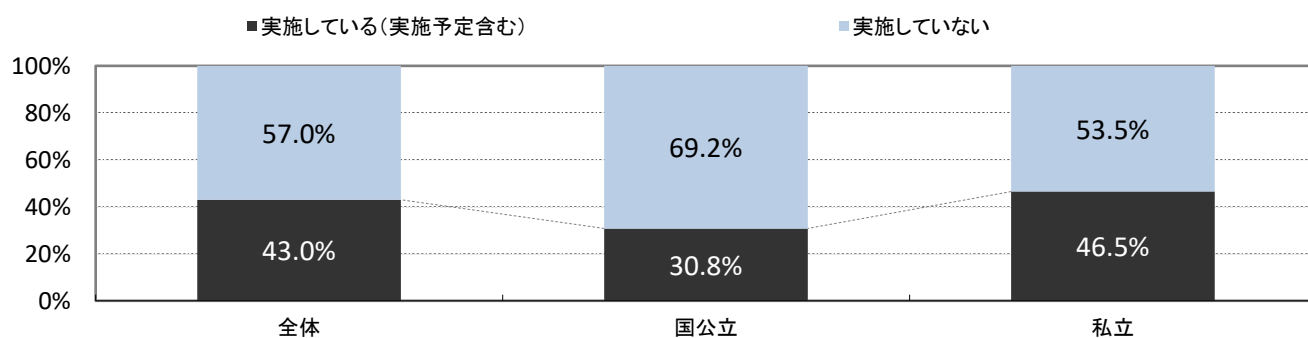
### キャリア教育の開始時期



### 低学年向けのアセスメントツール実施有無について

	全体(n=528)	国公立(n=117)	私立(n=411)	参考:前年調査
実施している(実施予定含む)	43.0%	30.8%	46.5%	50.4%
実施していない	57.0%	69.2%	53.5%	49.6%

### 低学年向けのアセスメントツール実施有無



【2019年度実績】大学で実施する、単位認定をしているインターンシップはあるか

	全体(n=557)	国公立(n=127)	私立(n=430)
はい	79.9%	81.7%	79.4%
いいえ	20.1%	18.3%	20.6%

【2020年度予定】大学で実施する、単位認定をしているインターンシップはあるか

	全体(n=557)	国公立(n=127)	私立(n=430)
はい	56.0%	64.6%	53.5%
いいえ	32.7%	22.8%	35.6%
検討中	11.3%	12.6%	10.9%

新型コロナウイルスの影響下における、単位認定型インターンシップのWEBでの開催について

<単位認定型>	全体(n=416)	国公立(n=89)	私立(n=327)
今年度限り認める	6.7%	4.5%	7.3%
プログラム内容次第で認める	50.5%	62.9%	47.1%
WEBでの開催はインターンシップとして認められない	42.8%	32.6%	45.6%

新型コロナウイルスの影響下における、自由応募型インターンシップのWEBでの開催について

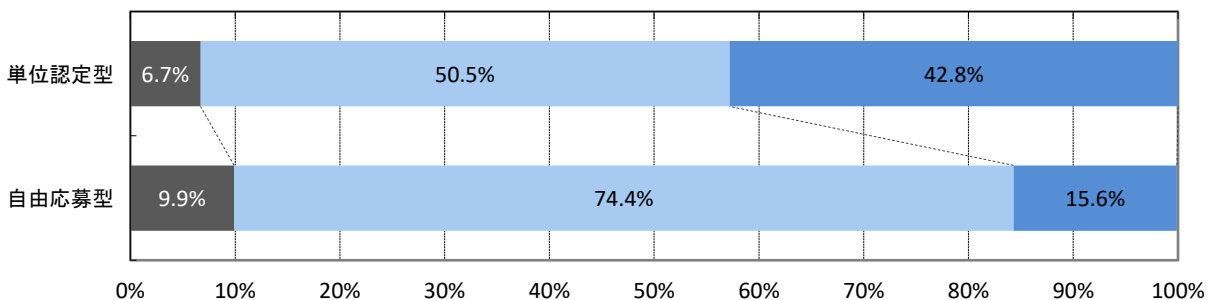
<自由応募型>	全体(n=454)	国公立(n=98)	私立(n=356)
今年度限り認める	9.9%	8.2%	10.4%
プログラム内容次第で認める	74.4%	80.6%	72.8%
WEBでの開催はインターンシップとして認められない	15.6%	11.2%	16.9%

有償インターンシップについての考え

	全体(n=532)	国公立(n=119)	私立(n=413)
推奨する	8.8%	8.4%	9.0%
どちらかという推奨する	12.0%	5.9%	13.8%
どちらかという推奨しない	15.8%	7.6%	18.2%
推奨しない	10.9%	8.4%	11.6%
特に意見はない	52.4%	69.7%	47.5%

WEB開催でのインターンシップについて

■今年度限り認める ■プログラム内容次第で認める ■WEBでの開催はインターンシップとして認められない



全国求人情報協会と大学関係団体の連名で1.インターンシップの「長期休暇」「土日祝」中心の開催を推進 2.ワンデーインターンシップという表記を使用しないことが発表されました。(これを受け弊社では1日だけの就業体験を「ワンデー仕事体験」としております。)

上記の発表に対する対応について

	全体(n=538)	国公立(n=121)	私立(n=417)
評価する	53.7%	50.4%	54.7%
評価しない	3.3%	3.3%	3.4%
どちらでもない	42.9%	46.3%	42.0%

(6) グローバル人材について

	全体(n=236)	国公立(n=39)	私立(n=197)	参考:前年調査
外国人留学生の国内就職希望者数平均	38.9	19.8	42.6	27.5

外国人留学生の就職希望者数の分布	全体(n=236)	国公立(n=39)	私立(n=197)	参考:前年調査
0人	31.4%	25.6%	32.5%	29.1%
1~9人	24.2%	38.5%	21.3%	26.1%
10~29人	22.9%	20.5%	23.4%	24.5%
30~49人	9.3%	5.1%	10.2%	6.9%
50~99人	6.4%	5.1%	6.6%	6.5%
100人以上	5.9%	5.1%	6.1%	6.9%

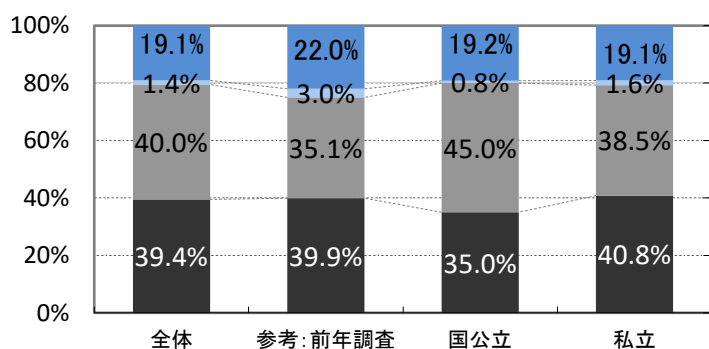
外国人留学生向けの就職支援を実施しているか	全体(n=502)	国公立(n=120)	私立(n=382)	参考:前年調査
日本人学生と区別して実施している	39.4%	35.0%	40.8%	39.9%
日本人学生と区別せず実施している	40.0%	45.0%	38.5%	35.1%
今年度実施予定はある	1.4%	0.8%	1.6%	3.0%
実施しておらず、当座の実施予定もない	19.1%	19.2%	19.1%	22.0%

日本人留学経験者への特別な就職支援の実施	全体(n=485)	国公立(n=112)	私立(n=373)	参考:前年調査
実施している	13.6%	12.5%	13.9%	17.1%
今年度初めて行う予定がある	1.0%	0.9%	1.1%	1.0%
実施しておらず、当座の実施予定もない	85.4%	86.6%	85.0%	82.0%

マイナビの日本人留学生就職支援について知っているか	全体(n=499)	国公立(n=116)	私立(n=383)	参考:前年調査
はい	67.7%	61.2%	69.7%	51.8%
いいえ	32.3%	38.8%	30.3%	48.2%

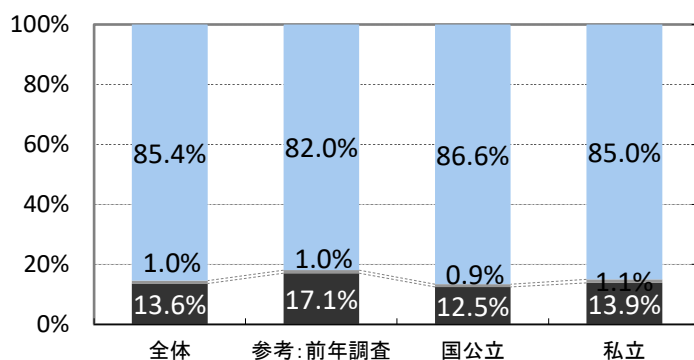
外国人留学生向けの就職支援を実施しているか

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 今年度実施予定はある
- 日本人学生と区別せず実施している



日本人留学経験者への特別な就職支援の実施

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 今年度初めて行う予定がある
- 実施している



(7) 新型コロナウイルス感染拡大が大学の支援やキャリアセンターの業務に及ぼす影響について

学内への立ち入り制限を実施したか

	全体(n=553)	国公立(n=121)	私立(n=432)
はい	94.6%	86.0%	97.0%
いいえ	5.4%	14.0%	3.0%

通常のキャリアセンターにおける開室状況や取り扱い業務について  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、なんらかの変更を行ったか

	全体(n=553)	国公立(n=121)	私立(n=432)
変更した	84.6%	78.3%	86.4%
変更はない	15.4%	21.7%	13.6%

▼上記で、なんらかの変更を行った場合の

変更を行った時期

		全体(n=461)	国公立(n=94)	私立(n=367)
2020年1月以前		0.2%	-	0.3%
2月	上旬	0.9%	2.1%	0.5%
	中旬	0.2%	-	0.3%
	下旬	4.6%	2.1%	5.2%
3月	上旬	11.7%	6.4%	13.1%
	中旬	4.3%	3.2%	4.6%
	下旬	9.1%	7.4%	9.5%
4月	上旬	51.4%	50.0%	51.8%
	中旬	9.8%	14.9%	8.4%
	下旬	5.6%	11.7%	4.1%
5月	上旬	1.1%	1.1%	1.1%
	中旬	0.7%	1.1%	0.5%
	下旬	0.4%	-	0.5%

▼上記で、なんらかの変更を行った場合の

キャリアセンターの開室状況

	全体(n=449)	国公立(n=91)	私立(n=358)
開室していた	37.0%	46.2%	34.6%
時間を短縮して開室していた	16.7%	7.7%	19.0%
開室していたが、閉室した	19.2%	18.7%	19.3%
時間を短縮して開室していたが、閉室した	2.7%	1.1%	3.1%
閉室していた	24.5%	26.4%	24.0%

緊急事態宣言中の人事の訪問等窓口の受付状況 (複数回答)

	全体(n=562)	国公立(n=127)	私立(n=435)
通常通り	7.8%	11.0%	6.9%
電話での対応	76.5%	78.0%	76.1%
メールでの対応	77.4%	73.2%	78.6%
WEBでの対応	37.2%	35.4%	37.7%
その他	5.9%	7.1%	5.5%
閉室中のためストップ	13.3%	11.8%	13.8%

緊急事態宣言中の学生からの相談対応について (複数回答)

	全体(n=566)	国公立(n=128)	私立(n=438)
通常通り	9.0%	14.1%	7.5%
電話での対応	87.1%	85.9%	87.4%
メールでの対応	86.7%	82.0%	88.1%
WEBでの対応	77.6%	75.8%	78.1%
その他	7.4%	4.7%	8.2%
閉室中のためストップ	0.7%	-	0.9%

WEBで行った支援について（複数回答）

	全体(n=481)	国公立(n=108)	私立(n=373)
模擬面接	85.4%	83.3%	86.1%
就職相談全般	93.1%	93.5%	93.0%
エントリーシート添削	84.6%	90.7%	82.8%
学内OBOG訪問	5.0%	5.6%	4.8%
その他	8.7%	7.4%	9.1%

今回の対応以前からWEBによる学生への相談対応を行っていたか

	全体(n=557)	国公立(n=125)	私立(n=432)
行っていた	10.8%	9.6%	11.1%
行っていない	89.2%	90.4%	88.9%

健康診断等の企業への提出書類の発行時期の変更について

	全体(n=548)	国公立(n=122)	私立(n=426)
変更はない	28.6%	32.8%	27.5%
遅らせた	67.2%	62.3%	68.5%
早めた	0.2%	-	0.2%
中止した	4.0%	4.9%	3.8%

推薦書や健康診断書等の提出書類の発行の遅延や発行できない旨の企業への通知方法について（複数回答）

	全体(n=386)	国公立(n=82)	私立(n=304)
大学HP	54.1%	54.9%	53.9%
メール	7.8%	1.2%	9.5%
郵送	2.3%	1.2%	2.6%
電話	5.4%	-	6.9%
その他	8.5%	6.1%	9.2%
キャリアセンターからの通知はしていない	37.3%	40.2%	36.5%

前期の授業はWEBで行われたか

	全体(n=560)	国公立(n=126)	私立(n=434)
行われた	83.6%	86.5%	82.7%
一部行われた	14.1%	10.3%	15.2%
行われていない	2.3%	3.2%	2.1%

新型コロナウイルスの影響による授業対応のため夏期休暇期間を変更するか

	全体(n=558)	国公立(n=125)	私立(n=433)
変更する	60.8%	55.2%	62.4%
変更しない	29.6%	36.8%	27.5%
検討中	9.7%	8.0%	10.2%

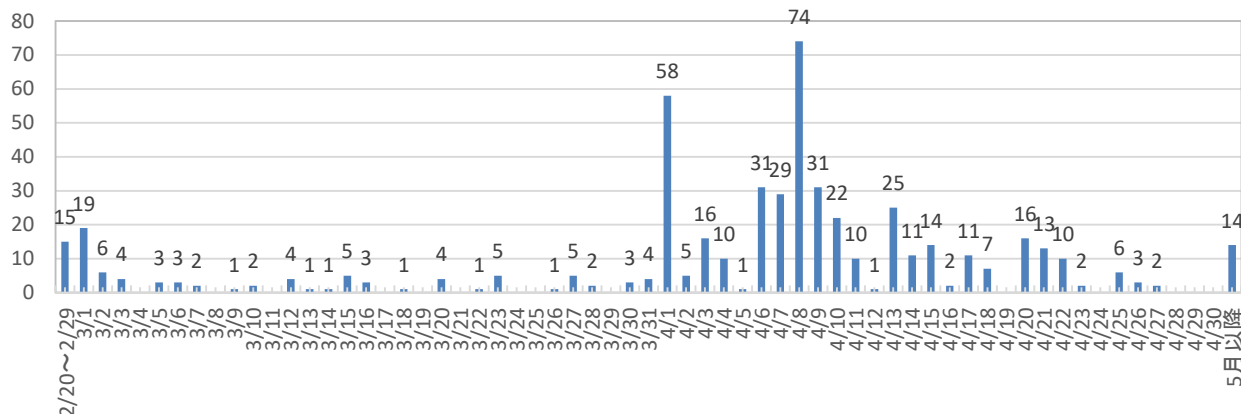
(8) 9月入学について

9月入学について	全体(n=442)	国公立(n=81)	私立(n=361)
賛成	9.3%	12.3%	8.6%
どちらかという賛成	30.5%	23.5%	32.1%
どちらかという反対	45.5%	54.3%	43.5%
反対	14.7%	9.9%	15.8%
賛成+どちらかという賛成	39.8%	35.8%	40.7%

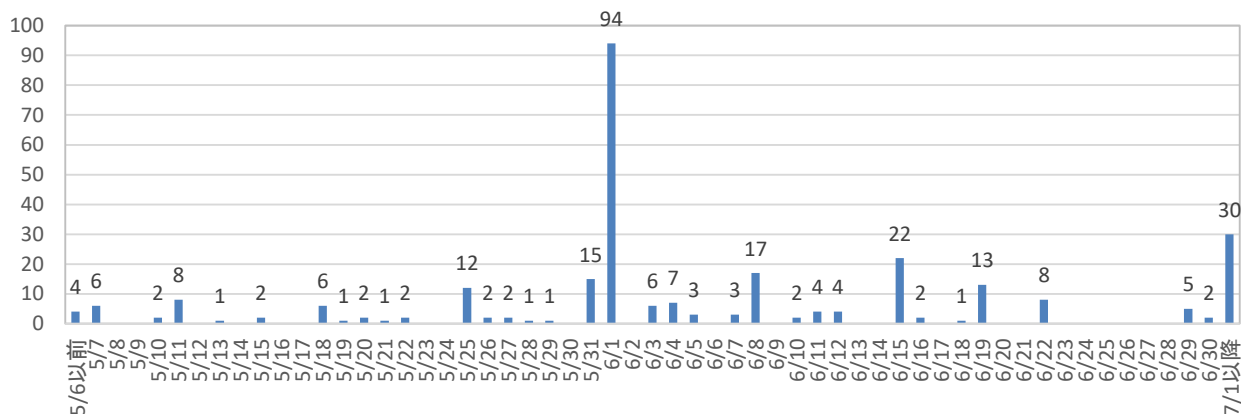
## 学内立入り制限日

4月1日からの2週間で、6割強の大学が立入り制限を行った。緊急事態宣言が発令された翌日の4月8日が74校と最も多く、国の政策に沿った対応と言える。一方、3月1日以前から学内立入り制限を行った大学も34校あり新型コロナウイルスの感染拡大を警戒し対応していたようだ。学内立入り制限の解除は全国的に緊急事態宣言が解除された後の6月1日が最も多いが7月1日以降との回答も30校ほどあり夏休みまで学内立ち入り制限を続ける大学も見られた。

### 学内立入り制限開始日



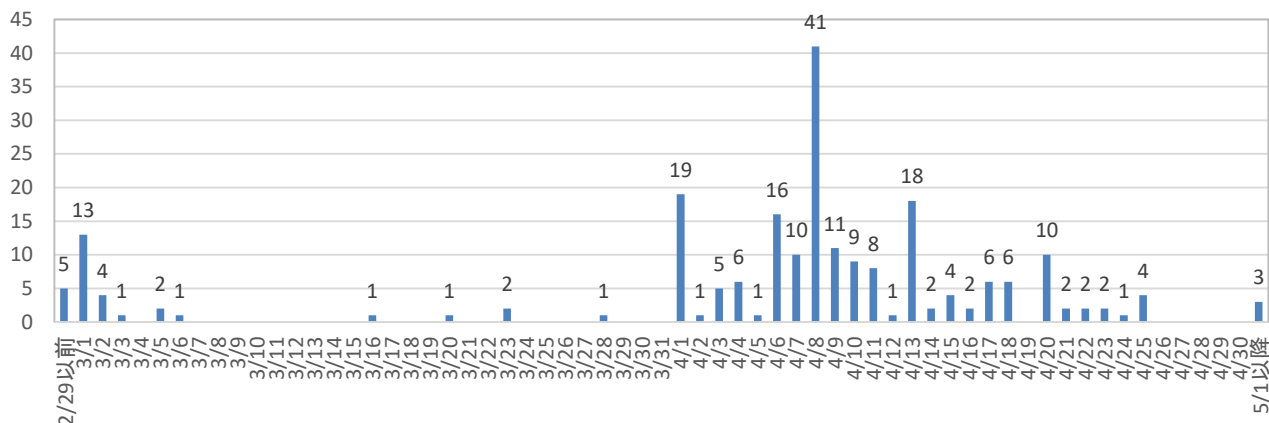
### 学内立ち入り制限解除日



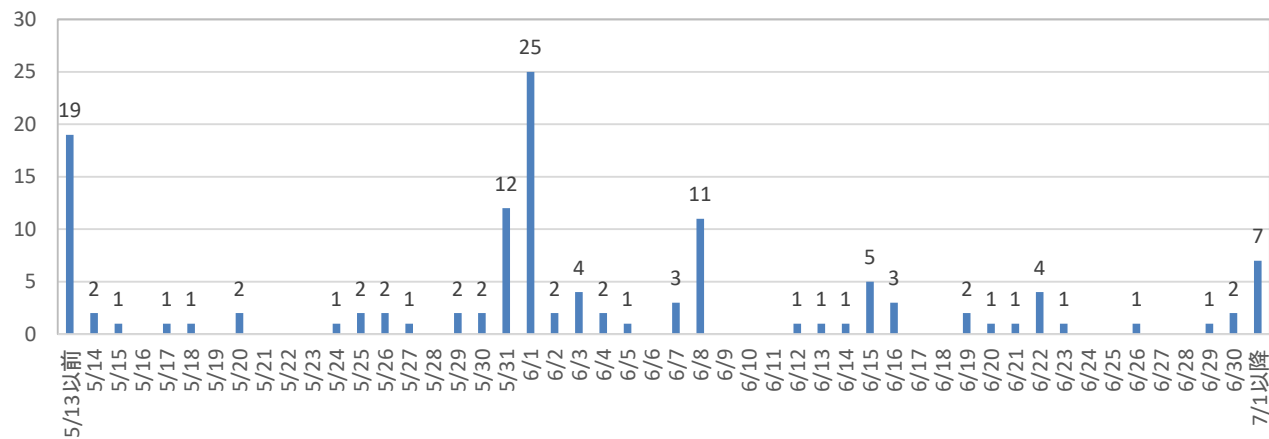
## キャリアセンターの閉室日

新型コロナウイルス感染拡大対策としてキャリアセンターを閉室した日は、学内立ち入り制限開始日と同じく、4月8日が最も多い。閉室解除日は学内立ち入り制限解除と同様6月1日が多かった。6月1日は採用選考開始日であり、相談等に訪れる学生で混雑したキャリアセンターもあったのではないだろうか。

### 閉室日



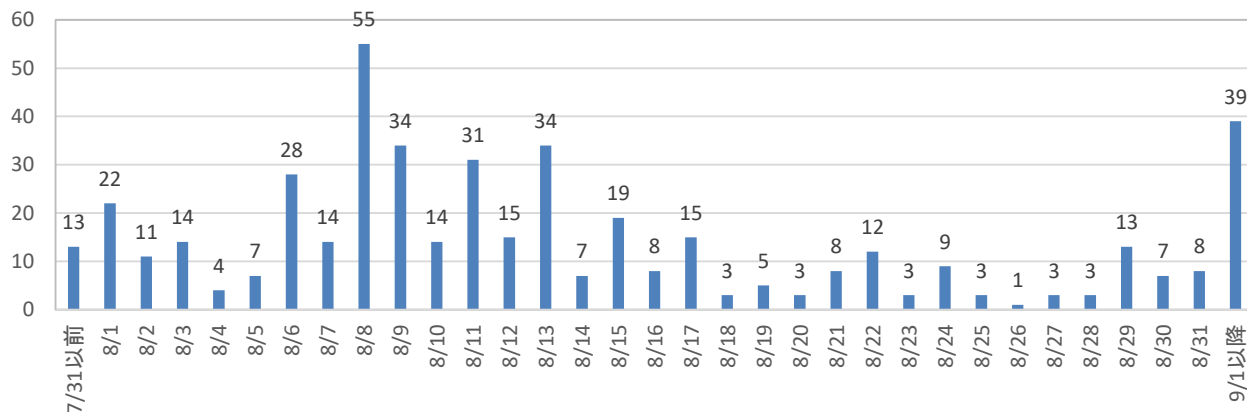
### 閉室解除日



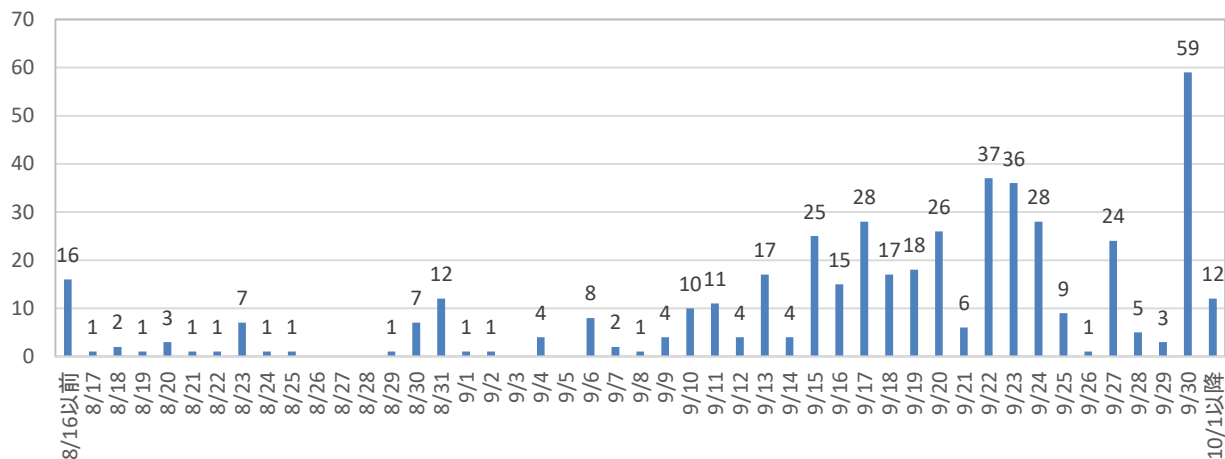
## 夏休み期間について

新型コロナウイルス感染多拡大の影響より6割の大学が夏期休暇期間を変更すると回答していた(P21)。夏期休業期間を短くすることで、学内立入り制限やオンライン授業への移行準備等で不足した授業時間を補う。夏期休暇開始日はお盆前からお盆休み中に集中している。例年の夏休みより1~2週間程度後ろ倒しになっているようだ。夏期休暇終了日は9月末が最も多く、終了日に関しては例年通りのようにも見える。

### 夏期休暇開始日



### 夏期休暇終了日





## (10)自由記述

### 学校主催で行う就職ガイダンス増減の理由

#### 増えた理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
東海	私立	学生への告知回数を増やしたことと、年々増えていることから、先輩から後輩へのアドバイスとして参加を促していることも考えられる。
関東	私立	インターンシップに関心がある学生が増えたため、前期のガイダンスの出席者が増えた。
東北	公立	企業の採用活動早期化等により、就職活動への意識が高まっている。
関東	私立	新型コロナウイルスの関係で学生が不安感を持っていて学内でのイベント参加人数は増えたと思われる。
関西	私立	大学内で、進路へ取り組み強化を行なっているため。
関西	私立	学部学科の行事や合同ゼミ形式で実施したこと。ゼミナールの一部の時間をガイダンス用に提供してもらい教員も同席のうえ実施できたこと。キャリアセンターからの情報発信にプラスして学部教員、ゼミ担当教員からガイダンスへの参加促進を行ってもらい、ガイダンスへの参加者増につなげたこと。以上のことが学生の参加者増につながった要因の一つであると考えられる。
北陸	私立	就職ガイダンスで学部別開催の回を早期に設定したことや、周知方法にLINEを導入したことが要因であると思います。
関西	公立	自由応募型インターンシップ参加への意識付け。
関東	公立	セミナー内容の見直しと実施講座数の増加。
関東	私立	学生へリマインド通知を前日に出すようにしたことにより、うっかり忘れの学生分が増加したと思われる。
関東	私立	学内全体でガイダンスに参加をすることの有用性を学年全体に伝えるとともに、教員からもゼミナール等を通じての参加を促した。学年全体の層としてもガイダンス等への参加意欲が高かったものと推察している。
九州	私立	新型コロナウイルスの関連で就活情報の入手が困難となってきて、先が見えない「不安感」が手伝ってキャリアセンターでの相談・指導が増えたと思う。

#### 減った理由

東海	国立	学生が「売り手市場」との認識が強くなったから。
東海	私立	新型コロナウイルス感染予防のため大学への登校等の自粛措置を行ったため。
東海	国立	インターンシップへの強い関心。その分秋以降の就職ガイダンス等イベントへの動員が鈍い印象。
関東	私立	インターンシップの参加学生が増加し、事前準備が整っていると勘違いする学生が増加した。選考の早期化により、学生にとってガイダンスの時期が遅いと感じている。
関西	公立	学生の就活のスタイルが多様化し、全体に対するガイダンスでは満足できない学生が増えたように思う。わざわざガイダンスを聞かなくても、他で同じような情報は入手できると思われる。
中国	私立	インターンシップが主流化し、就職ガイダンスを通じてではなく、学生自身で企業と接触し就職活動を進める学生が増えたと考える。
関東	私立	コロナウイルス感染を恐れ、参加企業数が激減したこと、優良大手企業の参加が激減したため、学生参加数が減少したと考えられる。
九州	国立	夏季インターンシップに行っている学生が増え、就職活動が早まっていることが考えられる。
関西	私立	コロナウイルス感染拡大の影響で来学学生数が2020年1月後半より減少し続けていたため。
関西	私立	売り手市場であり、就職活動を楽観視している学生が多かったと思われる。
東海	私立	夏季インターンシップの参加後、業界や企業の絞り込みが進んだこと、インターンシップに参加できた満足感、早期選考などの案内があり、大学主催のガイダンス等への参加意欲が減ったと思われる。
関東	私立	様々な要因が考えられますが、「主体性の低下」「外部サービスの利用」は大きな要因と捉えています。

## 今年度のインターンシップに関して、企業に対するご意見やご要望

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	厳しい社会情勢であることは承知しているが、ぜひ学生に働く大変さと面白さを体感させていただけると嬉しい。
関東	私立	コロナウイルスの影響で、22年卒も企業訪問の機会などが減ることも予測もされます。WEBなど非対面インターンシップであっても、学生が仕事理解度を深める、興味を広げるきっかけになるよう、工夫をしていただけると有難く思います。
中国	私立	夏休みがなくなることが想定されます。土日での開催を希望します。
関西	私立	WEB開催の場合、学生の業界理解・企業理解は対面形式より低いと考える。会場の配置、人数を限定するなど、実施方法を工夫し、できる限り対面形式のインターンシップが開催できるようお願いしたい。
関東	私立	学生の視野を広げていただけるような、様々な体験ができるプログラムを作っていただきたいと思います。
北海道	私立	新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかり行い実施していただきたい。
北海道	公立	選考直結のインターンシップが増加しているが、地方学生が不利にならないように長期休暇での開催をメインとしてほしい。
関東	私立	Webになったとしても、学生が視野を広げ、仕事観を深められるようなプログラム実施を期待します。
東海	私立	「説明」「ワーク」だけでなく、職業体験の場を増やしてほしい
東北	私立	学生の不安を払拭していただき、準備不足も考慮いただいて受け入れをしていただけると幸いです。また、地方からも参加しやすいようにWEBでの開催をしていただけると助かります。
関西	私立	新しい生活様式での開催は大変かと思いますが、学生に対して「働くことの意義」を伝えて頂ければと思います。
中国	私立	Webインターンシップが活発になると思われるが、説明会に終始するのではなく、あくまでキャリアを考えるための業務体験等ができるよう内容を工夫して開催して欲しい。
関東	私立	どうしても採用目的になりがちなのは仕方ないとは思いますが、単なる労働力として使うことは本当に止めて頂きたい。受入れ企業側の負担が大きいのはわかりますが、実施する以上はきちんと”インターンシップ”としてのプログラムを組み、それなりの工数をかけてほしいです。
関東	私立	短期間のインターンシップが増加傾向にあることはやむを得ないが、就業意識の醸成という本来の目的に沿ったインターンシップが増えてくれることを期待している。
関東	私立	新型コロナウイルスの影響により、インターンシップの延期や中止、WEB型での実施など企業によって対応は様々です。学生が情報の把握に苦慮しておりますので、引き続き、情報提供をお願いできればと存じます。
中国	私立	就業体験について、低学年の参加を積極的に受け入れていただくと有難いです。
九州	国立	対面で実施する場合は感染症対策を万全にし、実施直前や実施中でも、実施地域で経路不明の感染者が急増するなどの状況の変化が起こった場合には直ちに中止またはWeb対応に変更するなどの対応をお願いします。
関東	私立	企業の告知でとどまらず、学生の成長につながるプログラムを実施していただけるとありがたいです。
関東	私立	コロナ対策が求められるなか困難かと思われるが、機会損失にならないよう実施する方向を模索してほしい。
関東	私立	コロナウイルスの影響で、今年度は前期授業開始が遅くなった分、9月中旬まで授業があるため、従来の夏休みという期間がありません。そのため、できるだけ学業に影響のない「日祝」の開催をお願いいたします。
関西	私立	夏季は難しいとして、秋季・冬季に、週末ごとに、1カ月間をかけて実施するなど、多様な形でのインターンシップの実施を検討してほしい。
甲信越	私立	インターンシップ参加について学生の情報収集ができてくいため、サイト登録や企業へ「大学によっては参加に対して届け出が必要」等の掲示協力をお願いしたいと思います。
関西	私立	WEBでのインターンシップ実施の場合の内容を早めに明確にさせていただきたいです。
九州	私立	対面でも問題が発生することがあるのに、WEBでの開催はどのような問題が発生するかが不安である。
関東	私立	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらのインターンシップ開催は、非常に気を遣い困難が多いと思いますが、開催いただけることに感謝いたします。新しい生活習慣が求められる中、今後の仕事について向き合える貴重な体験だと考えています。
四国	国立	コロナ禍の中、就業体験としてのインターンシップを実施していただけることは非常にありがたいです。実施時点での状況を見ながら、学生にとって有意義な就業体験となるよう臨機応変にご対応いただきたいです。
関西	私立	新型コロナウイルス感染症の影響で在宅勤務の措置を取られた事業所には、その経験を活かして、遠隔で一定以上の就業体験ができる内容を検討していただきたい。学生が授業以外の空き時間を利用して就業体験に参加しやすくなることを主な狙いです。

## 新型コロナウイルスの影響下における、日本で就職を考えている外国人留学生への対応

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	外部の支援業者とも連携をしながら支援を行っている。
関東	私立	WEBによる就職相談実施、日本と海外の採用文化の違いをガイダンスで伝える。
東海	私立	学内への求人や就職情報会社や公共機関からの情報提供や斡旋を活用。
北海道	国立	留学生が希望している業種などの情報をメールで送っている。また、必要に応じて就職相談なども受けている。
中国	私立	定期的にアンケートを出し、希望者には面談を実施している。
関東	私立	留学生の就職については本人の意思(日本・母国・その他)を確認し、ゼミ教員を中心に対応してます。難しい案件の際はキャリアへ相談、国際担当部署等とも連携を図っています。
関東	私立	留学生向けの就職ガイダンスを作成し、オンライン配信を実施(5月)。メールでの情報配信(求人・相談窓口等)。
関西	私立	後期の卒業論文への負荷が大きくなると考えられるので、状況に合わせて個別のサポートが必要とされるのではないかと。
関西	私立	外国人留学生に対する求人情報が少なくなっているため、キャリアセンターが情報収集をしている。また学生に対しては早く就活をスタートするように促している。
関西	私立	新型コロナの影響で対面での面接会を嫌がる傾向が強いため、WEBでの合同説明会・企業説明会へ参加するように案内している。
中国	私立	3年生までに日本語能力試験(JLPT)でN1目指すように指導している。4年生には就労ビザ取得を意識した就職活動をするよう伝えている。
中国	私立	例年以上に、マッチングを重視して支援にあたっている。
関東	私立	正直この状況下で一番の弱者は外国人留学生で、インバウンドが少なくなれば必要性がなくなる。これらを考慮して出入国在留管理庁なども対応してほしい。本学は状況に応じて対応していく。
九州	公立	学部生に関しては日本語が分かるので、日本人学生へ行っているようなセミナー(WEB配信)を見るよう推奨している。また、個別に相談がある場合は別途応じる。
関東	私立	オンライン授業の実施に伴い、母国で授業を受けている学生も相当数いることから、オンラインによる面談を実施している。

## 新型コロナウイルスの影響下における、日本で就職を考えている 海外留学中の日本人の学生への対応

エリア	学区分	自由回答部分記載
九州	私立	WEBを駆使しての活動を支援します。メール等での問い合わせに応じています。
関東	公立	例年12月に「これから留学に行く学生向け就職ガイダンス」を実施。希望者には担当者ともメールにて、ES添削、面談を実施。
関西	私立	WEB実施されるキャリアフォーラムの紹介及び、事前セミナーをWEBで行っている。
九州	私立	留学先より帰国後に個別対応。
関東	私立	中国留学中の学生もしくは一時帰国学生に対して就職ガイダンスを実施。
甲信越	公立	すでに帰国した学生や、現地で足止めになった学生などが数人いる。想定外のことで、学生も不安で今後の予定もたたくに。個別相談など状況把握しながら、メンタル面も含めサポートしている。
九州	私立	WEBを駆使しての活動を支援します。メール等での問い合わせに応じています。
関西	私立	WEB選考を導入する企業が多いので、タイムラグがなく就活(準備含む)が出来るので、活用するようすすめる。
関東	私立	日本在住の学生と同様に、オンラインを活用した支援を行っている。なお、海外留学中だった学生の多くはコロナウイルスの影響を受け帰国となっている。
関東	私立	原則、留学は中断して帰国させているが、希望者がいた場合はWEB面談等で対応予定。
関東	私立	オンライン個別相談の実施、オンライン講座等情報提供、問い合わせフォームでの問い合わせにメールで対応。
関西	私立	情報提供を特に丁寧に行っている。基本的にはすべての学生に対し、分け隔てなく同様の支援を行う。
関東	私立	全学生帰国させたため、就活時期について混乱が生じている。ただ、人気企業以外の求人は例年よりも残っている感触なので、それらを中心に勧めて、なるべく5年生にしないように指導している。

## 9月入学について

### 賛成の理由

エリア	学区分	自由回答部分記載
関東	私立	世界基準に併せる意味で良いと考えます。
関東	私立	早急に変えることはできないかもしれないが、グローバルスタンダードである9月入学良いのではないかと考えます。ただそれには全体的な大学・高等教育の見直しが必要でもあるとも思います。定員割れが著しい大学・一定の教育水準が満たしていない大学は廃校にしても良いとも思います。
北陸	私立	教育のグローバル化の観点から、欧米各国に合わせた方がメリットが多いと考えるから。
関東	私立	本学ではセメスター制度を導入していることもあり、4月入学・9月入学と両方ある。9月は留学生に多く見られるが就職について時期が異なるので苦慮する。4月～9月にかけて海外の大学との交流を図った際も、授業期間の不一致から中止になったものもある。国際化を進めていくうえでは時期の変更も前向きに捉えている。
関西	国立	学生の行事等についても学業で学ぶものの一つと考える。それを確実に保証する必要がある。今後いつ、休校になるかわからないので、これを機会に卒業を遅らせ、修業機会を保証し、次年度より9月入学とすることで、世界との足並みもそろえることができるため。
関西	私立	海外からの留学生の受け入れ等実施する場合、都合がよい。
関東	公立	欧米に合わせることで、留学生増加が見込める。本学学生も留学しやすくなる。
関西	私立	9月入学の国が多い点。冬期のインフルエンザが蔓延する時期に受験せずに済む点。
関東	私立	世界的な流れを考えると、9月入学にして留学をしやすくすることや、寒い季節の入学試験の負担は減ることは良いと考えます。また、年度の考え方を考える必要があるので、就職活動の面から考えると通年採用が主流とならなければ困難と考えています。性急な変化よりも、段階的に実施するための議論が必要と感じています。
北陸	公立	準備期間が相当必要であろうが、世界基準に日本も合わせる方向とすべき。留学学生からは、今のままでは就活に間に合わない、学業で他の学生と不整合が生じるという声を聞く。
関東	私立	既に行っており違和感が無い。入学時期が複数あるのは、学生の進路を考えるうえで選択肢の幅が増え有益だと思う。留学やインターシップ、休学など大学生活はもっと多様化すべき。
関西	私立	個人的な意見ですが、海外へ進学・就職をする学生が連続性を持って進路を決定できるようになるかと思っています。
東北	公立	すでに9月入学を導入しており、多彩な能力および資質を備えた学生が必要と考えるため。

### 反対の理由

東海	私立	就職活動に影響が出る。その他の弊害が考えられる。
関東	私立	入学時期だけ変更すればよいというものではなく、就職活動時期と就職とも連動している。現状の新型コロナウイルスの影響で付け焼刃的に対応をするものではなく、大学のカリキュラムや学生の卒業後の進路にも影響を及ぼすものなので慎重に検討されるべき。
東北	私立	最終的には入社時期が変わってくるので、日本の一括採用制度が変わってこないやりようがないのではないかと。しかし、日本の一括採用制度にも良い部分があり、早急に変えるのは無理があるだろう。
関東	私立	準備期間をきちんと取ったうえで実施できるのであれば問題ないが、現状はそういった現実的な議論ができていないため。
甲信越	私立	法整備を含め、様々な環境を整えたうえで実施する必要があり、拙速なやり方で移行することは反対。
関東	私立	本学のカリキュラムは企業の協力を得て実施するものが多く、企業の決算時期などとの兼ね合いからカリキュラムの調整が困難であるため。
九州	公立	就活スケジュールのみならず、学内行事全般の変更が必要のため。段階的な導入が現実的かと思う。
九州	私立	将来的には導入は可能だと思いますが、現状のシステム等を考えると準備不足は否めません。在学生に関しても混乱が起こりかねない。また学費・生活費の問題等で学生及び保護者の負担が増える為。
関西	私立	現状では、学生の就活時期、企業の選考方法の時期等の整理が不十分なため。
四国	国立	9月入学と言っても影響は入学時期(入試時期)の変更のみではないため、現時点では拙速であると考えます。
関東	私立	学事やカリキュラム、就職支援に至るまで様々な面で、多大な影響があるため。
関東	私立	国家資格の試験が2～3月頃実施されるため、卒業後スムーズに就業するためには卒業時期を変更させることは困難と考える。
東海	私立	制度が整っていない中で、4月入学者と混在することはシステム等の問題で危険であると感じる。

## 今年度の就職活動について課題や、企業に向けてのご意見

エリア	学区分	自由回答部分記載
関東	私立	採用計画が土壇場で変わる等、学生が不安になる要素がとても多い。また、そのような状況を把握することも難しく、支援方法に苦慮している。
関東	国立	新型コロナウイルス感染防止対策についての取り組み、WEB対応が続くことによる学生のモチベーション維持、インターンシップの中止による学生の職業・企業理解の機会損失、就職先のミスマッチ、視野を広げる機会の損失等
甲信越	私立	今後はwebを利用した説明会や面接がスタンダードになるものと考えられる。学生側の意識も変わってきている。大手企業だけではなく、中小企業も積極的に取組み、取り入れて貰いたい。
関東	私立	学生の動向および企業のWEB化への対応状況や採用スケジュールの変更について、情報をどのようにして取得していくかが課題としてある。
北海道	国立	新型コロナウイルス感染症防止対策についての取り組み。企業でも最終面接までWEBを使用しているところと、対面の集団面接を課している企業もあり、取り組みに差があると感じている。地方学生にとってはWEB面接が、移動時間や交通費が要らなくなるので、コロナ収束後も実施してほしいと思います。
関東	私立	現在、キャリアセンターも企業とのコミュニケーションがとりづらくなってきており、生の情報が入りにくい状況です。4年生の採用情報や3年生のインターンシップ情報などWEBを通じてコミュニケーションが図れればと思っています。
甲信越	私立	今後は、採用数が絞られることが予測されるため、学生全体のレベル(いろいろな意味で)の底上げが必要だと考えています。
関東	私立	新型コロナウイルスの関係で企業の採用応募時期の繰り下げとインターンシップの時期の変更なども含めて。今後の企業側のスケジュール変更、また、感染防止の観点からウェブ面接の取り組み状況など情報を知りたい。
東海	私立	来年春に入社する学生へのフォローをお願いしたい。いきなりOJTから入るのではなく、社会人として働くことや将来キャリアについて会社側から新社会人に対して教育・支援をお願いしたいと思います。
関西	私立	遠方からの就活生に対しては柔軟な対応をお願いしたい。最終面接等で東京に行かなければならない学生がおり、本人、保護者共に不安を抱えていた。時期を改めたり、Webで代替できないか相談したが、譲歩して頂けず、結局選考を辞退することになった学生がいた。
関東	私立	採用計画が土壇場で変わる等、学生が不安になる要素がとても多い。また、そのような状況を把握することも難しく、支援方法に苦慮している。
四国	国立	学生は漠然とした不安感から志望度の高い企業の内々定を持ちながらも就職活動を継続している者が多い。また、企業には、選考日程、結果などの決定、公表、通知等に時間を要しているところが見受けられる。コロナウイルス感染症の影響によるものと思われるが、選考が長引かないようご協力いただきたいです。
中国	私立	学生本人が感染防止を希望する場合、「本社で最終面接」などは避けてほしい。
関西	私立	採用活動時期をずらすのか、そのままやるのかなど全体として統一してほしい。
関東	私立	コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、21生は就職活動に大変不安を抱えております。インターンシップに参加しておけばよかったと後悔する学生もおります。企業様も大変な状況かと思いますが、最新の採用情報を常に更新してくださると助かります。
関西	私立	22年卒向けの支援が始まっているが、対面ではなくオンラインで例年並みの支援ができるかが課題である。また、新型コロナウイルスの影響で採用数の減少を危惧する学生が多い。
関東	私立	担当者もWEB面接の対応が初めてで、困惑している。コロナの対応に追われ、セミナーなど勉強会にも参加できず、正確な指導や支援ができていないか不安である。
関東	私立	2021年採用求人を途中で中止される企業が見られるため、充実した求人紹介が急務である。
北陸	私立	今回様々な企業においてWEBによる就活のノウハウが得られたと思う。そこで、他県での就職活動は移動が伴うため、他県からの就活生については1次面接や筆記試験をWEBで対応するなどして、学生の時間と金銭面の負担を軽減して欲しい。
関西	私立	21卒は急に売り手市場から風向きが変わったが、なかなか学生が危機感を持つことが難しいように感じています。内々定の取り消しや採用の中止・中断といった企業もある中で、どのように納得できる就職につなげるかが課題です。
東海	私立	企業側の動きが見えなくなり、多くの学生が戸惑っていました。特に、選考途中で長期間連絡がないなど、不安な状況の学生が散見されました。可能な限り学生とのコミュニケーションを行っていただき、学生たちの不安を払拭する対応をお願いできればと思います。

## これからの就職支援についてのご意見

エリア	学区分	自由回答部分記載
関東	私立	通年採用化への動きやジョブ型採用など更に多様化する採用活動について、どのように支援していくかが、重要になっていくと考えています。
甲信越	公立	来年は、コロナの影響やオリンピックなど複数要因が絡み、極めてイレギュラーな年になるような気がして、そのような中での支援スケジュールの立て方に悩んでいる。より多くの最新情報の提供などを願いたい。
関東	私立	コロナ禍において、早期に内定承諾を求める企業が増加するとともに、学生の進路選択に支障を来す結果となっている。もう少し、学生が幅広く進路選択でき、進路選択の機会を複数いただけるように支援していきたい。
甲信越	私立	今回の新型コロナに関連してWEB対応が一気に進んだということからも、今後は更に色々な就活スタイルが展開されると考えています。大学の就活支援についても、そのような動きに遅れることなく学生をサポートするために、職員の能力や部署の機能を上げることが重要だと思います。
関東	私立	学内でのイベントをウェブによる遠隔支援システムを導入したことで、教室に集合させて実施するイベントよりも参加人数が増えている。新型コロナウイルスに関係なく今後もウェブによる就活関連イベントや学内合説の実施方法、対面による学生相談から遠隔ウェブ面談など、大学・企業含めてウェブによる実施など今後、検討していきたい。
九州	私立	新型コロナウイルスの影響で学生は、企業選択が狭まっているため、エリアごとの説明会、エントリー可能企業等の説明会を開催してほしい。
関東	私立	3月の大きなイベントが中止となったことにより、就職活動の流れに乗り遅れている学生が一定数いると思われる。その学生へ就職支援を充実していきたいと考えています。
関西	私立	WEBセミナーやWEB選考が主流(当面継続)となることから、学生に対するハード面の支援策を検討する必要がある。学生からの問い合わせとして、家庭のWi-fi環境の問題から、大学の施設貸与を要望されるが、学生に提供可能な適した部屋は限られているため、対応に苦慮している。
北陸	公立	それぞれの企業が求める「コミュニケーション能力」や「リーダーシップ」とは、具体的にどのような力量を指しているのか？また、あるなしの判定基準はどのようなものなのか明らかにしていただくとありがたいです。
関西	私立	企業の業績悪化に伴い、内々定取消が増えるようであれば、内々定保有者への指導も変える必要が出てくるように感じています。内々定の取消だけは避けて頂きたいです。
関東	私立	学内で健康診断が実施できないため、健康診断書の発行もできない。
関西	私立	これから本格始動する企業の情報をキャッチし、例年よりも多い未内定学生を中心に漏れなく情報提供を行い、特に就職活動に乗り遅れた学生(WEB選考の対応が乏しい、応募企業が少ない等)のフォローアップを行う。
関西	私立	様々なオンラインツールを駆使した就職支援にも一定の優位性があることが明らかになり、今後はオンラインでの支援と従来型の対面形式での支援を、いかにうまくハイブリッドな形で組み合わせ展開していくかが課題になると思われます。
関東	私立	ジョブ型採用への対応、ミスマッチの低減、内定率のみに縛られない就職支援などの必要性を感じている。
関西	私立	低年次からのキャリアプログラムを充実させる事により、就職や進路選択におけるミスマッチを防ぎたい。
九州	国立	未内定者への支援として、新たに7月に県外企業のみWeb合同企業説明会を開催し、8月は県内企業のみ対面での学内合同企業説明会を開催する予定です。
関東	私立	新卒一括採用の見直しなども話題に上がっているが、学業に支障をきたさないようスケジュールに配慮をお願いしたい。また、職業選択の自由を尊重し学生ひとりひとりの納得のいく進路のため、企業の内定者に対する過剰なアプローチは避けていただきたい。
東海	私立	今回のコロナの影響について、現3年生以降の学生の採用状況について危惧している。
関東	私立	大学入学時期、入学年齢、大学は4年で卒業など、今まで画一的だったものが、時代にそぐわなくなってきました。もっと多様化するべきですし、同様に就活ルールも不要になると思います。今回のコロナ騒動が一つの契機になれば良いなと思っています。
関東	私立	コロナ禍が進む中、WEBや対面等、選考方法等の多様化に対し、学生が混乱しないよう、いち早く企業情報を入手し対応していきたい。